

第 55 回一般社団法人日本糖尿病学会年次学術集会開催報告

2012 年 5 月 17 日（木）～19 日（土）の 3 日間、パシフィコ横浜の会議センター、国立大ホール、展示ホール、パンパシフィック横浜ベイホテルに於いて、第 55 回日本糖尿病学会年次学術集会を開催致しました。今回の学術集会のメインテーマである「DREAMS come true」は、糖尿病学会のアクションプラン 2010 の“DREAMS”の実現を推し進めたいとの思いを込めて決めました。歩いて移動できる範囲内に広い会場が集中する施設であったことと、交通アクセスも比較的良好なことも幸いし、これまでで最多の 13,573 名（学生・研修医 314 名を含む）の方々に来場いただきました。

本学術集会は、受賞講演、門脇理事長による理事長声明で始まりました。特別講演は、 β 細胞に関する 2 題と、大江健三郎氏による「回復する力、新しい力」の二つで、いずれも大盛況でした。シンポジウムは災害時医療や大規模臨床試験から再生医療まで 19 テーマ、オープンカンファレンスは CSII 療法とフットケアの 2 テーマ、From Debate to Consensus は 7 テーマで開催しました。Cutting-edge Lecture は 3 名の海外演者が講演しました。From Debate to Consensus は初めての試みでしたが、事前に演者と座長が打合せていただいたおかげで、議論を深めることができました。第 3 回 East-West Forum も議論は深まりましたが、若干参加者が少ないのが残念でした。教育講演は 13 テーマについて、自由聴講の会場と単位取得専門医に限定した中継会場で行いました。単位取得のための教育講演は、初めての本稼働でしたが混乱なく無事終えることができました。

一般演題は過去最多の 2,284 題が採択されました。その内、ポスター発表では 3 日間継続掲示という新しい形とし、オーディオツアー方式も取り入れました。ディスカッションの機会が増えた、演者の声ははっきり聞こえて討議に集中できた、など前向きな評価をいただきました。

運営の IT 化として、スマートフォンやタブレットなどに対応した抄録集アプリを作成しました。人名や演題の検索やスケジュール管理が便利で、重い抄録集を携帯しなくてもすむと好評でした。

市民公開講座の「白熱“糖尿病”教室」(日本糖尿病協会と共催)は、プロの俳優による演劇、専門家の解説、料理の実演、アンサーパッドを用いた Q&A など用いて、コミュニケーションと自己管理の重要性を提示しました。3,500 名以上の参加者がありました。サンセットラン&ウォークも 300 名を超える方々に参加いただきました。

想定した来場者数が 12,000 名であったことから、コンgres バッグやプログラム集などが不足しご迷惑をおかけしたが、何とぞ、ご容赦お願い致します。最後に、本学術集会の開催にご協力いただきました会員各位ならびに関係者の方々に、深く感謝申し上げます。

第 55 回日本糖尿病学会年次学術集会会長 渥美義仁

平成 24 年度理事会，学術評議員会ならびに社員総会における報告承認決定事項

第 55 回社団法人日本糖尿病学会年次学術集会は，渥美義仁会長主宰のもとに平成 24 年 5 月 17, 18, 19 日の 3 日間，パシフィコ横浜，パン パシフィック横浜ベイホテル東急において開催された。これに先立つ理事会，学術評議員会は 5 月 16 日に，また定時社員総会は 5 月 17 日に，いずれもパシフィコ横浜にて開催された。

1. 平成 23 年度事業報告および庶務報告

・一般演題 2,281 題

●事業報告

1. 第 54 回年次学術集会

会 長 羽田勝計(旭川医科大学内科学講座(病態代謝内科学分野))

会 期 平成 23 年 5 月 19 日(木)～5 月 21 日(土)

会 場 さっぽろ芸術文化の館，札幌市教育文化会館，ホテルロイトン札幌ほか

参加者 9,200 名

・会長講演 糖尿病と合併症：克服への Prospects

・特別講演 あたりまえの暮らしを求めて

・学会賞受賞講演

ハーゲドーン賞 糖尿病の統合的理解を目指した
血糖降下薬の基礎的・臨床的研究

リリー賞 ①糖尿病における膵 β 細胞代謝一分泌
関連障害の分子機構

②膵島におけるインスリン開口分泌機構の可視化解析

・緊急シンポジウム

災害時の糖尿病医療

・特別セッション

災害時のチーム医療

・シンポジウム

1. IDF の新しい 2 型糖尿病の治療のアルゴリズム アジアへの適応は 他 21 題

・ワークショップ

1. =CDEJ の未来=更なる資質を高め，社会的地位の向上を目指して

・教育講演

1. 1 型糖尿病の病態と予防 他 11 題

・Debate Session

日本人 2 型糖尿病の主病態は，インスリン抵抗性かインスリン分泌不全か？ 他 5 題

・糖尿病劇場・特別シンポジウム

糖尿病医療学 糖尿病診療のサイエンスとアート：糖尿病劇場

2. 第 46 回「糖尿病学の進歩」

世話人 佐藤 譲(岩手医科大学糖尿病代謝内科)

会 期 平成 24 年 3 月 2 日(金)・3 日(土)

会 場 岩手県民会館，盛岡グランドホテル(盛岡市)

参加者 3,066 名

1) 第 1 日目

A 会場

・レクチャー：糖尿病診療と療養指導に必要な知識 (1)

1. 糖尿病の概念と診断基準 他 4 題

・シンポジウム：コーチング技法などを用いてエンパワーメント

理念に基づく患者支援を促進する

1. エンパワーメントをめざす私の方法と実践～看護師の立場から～ 他 3 題

B 会場

・レクチャー：糖尿病診療と療養指導に必要な知識 (2)

1. 食事療法はなぜ必要か 食餌療法～食事療法～栄養療法 他 10 題

C 会場

・シンポジウム：糖尿病神経障害臨床の最前線

1. 糖尿病神経障害の症候学：早期診断と予防・管理のために 他 4 題

・ワークショップ：動脈硬化の診断の進歩

1. 血管機能と糖尿病 1 (PWV, CAVI) 他 3 題

・レクチャー：糖尿病診療に必要な知識 (1)

1. 心血管疾患発症阻止を見据えた良質な血糖管理 他 2 題

D 会場

・ワークショップ：世界と日本の大規模研究からわかったこと

1. DCCT, UKPDS 他 5 題

- ・シンポジウム：インクレチンと糖尿病合併症
- 1. インクレチン療法 総論 他 4 題
- E 会場
- ・レクチャー：臨床医がわかる糖尿病研究の進歩
- 1. インスリン抵抗性の分子機構 他 10 題
- F 会場
- ・レクチャー：研究成果発信の勧め
- 1. 糖尿病学会誌「糖尿病」への投稿の勧め 他 4 題
- 2) 第 2 日目
- A 会場
- ・レクチャー：糖尿病診療と療養指導に必要な知識 (3)
- 1. 妊娠と糖尿病 他 4 題
- ・シンポジウム：カーボカウントの理論と実際
- 1. 医学的な観点からのカーボカウントの理論について 他 3 題
- B 会場
- ・レクチャー：糖尿病診療と療養指導に必要な知識 (4)
- 1. 糖尿病網膜症の成因 他 10 題
- C 会場
- ・特別セッション：東日本大震災から学んだ災害時の糖尿病対策
- 1. 日本糖尿病学会アンケート調査結果から見えるもの 他 4 題
- ・市民公開講演会：糖尿病の新しい治療
- 1. 膵臓ベータ細胞を元気にするクスリ 他 2 題
- D 会場
- ・シンポジウム：小児・思春期糖尿病のケアと問題点
- 1. 小児科の立場から一都会で診察する立場から 他 4 題
- ・シンポジウム：糖尿病腎症臨床の最前線
- 1. 糖尿病性腎症と CKD—問題点と解決法 (新しい CKD 分類を含む) 他 4 題
- E 会場
- ・レクチャー：糖尿病診療に必要な知識 (2)
- 1. C ペプチドインデックスを用いた最適治療の選択 他 10 題
- 3. 地方会活動
- 1) 第 45 回日本糖尿病学会北海道地方会
 - 会 期 平成 23 年 11 月 23 日 (祝)
 - 会 場 札幌プリンスホテル国際パミール
 - 会 長 島本和明 (札幌医科大学学長)
 - 参加者 684 名
- 2) 第 49 回日本糖尿病学会東北地方会
 - 会 期 平成 23 年 11 月 5 日 (土)
 - 会 場 仙台国際センター
 - 会 長 岡 芳知 (東北大学大学院医学系研究科分子代謝病態学分野)
 - 参加者 815 名
- 3) 第 49 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会
 - 会 期 平成 24 年 1 月 21 日 (土)
 - 会 場 都市センターホテル, JA 共済ビルカンファレンスホール
 - 会 長 小沼富男 (順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター糖尿病・内分泌内科)
 - 参加者 2,143 名
- 4) 第 83 回日本糖尿病学会中部地方会
 - 会 期 平成 23 年 4 月 2 日 (土)
 - 会 場 富山国際会議場
 - 会 長 戸邊一之 (富山大学第一内科)
 - 参加者 480 名
- ・第 84 回日本糖尿病学会中部地方会
 - 会 期 平成 23 年 10 月 22 日 (土)
 - 会 場 名古屋国際会議場 1 号館 3F および 4 号館 3F
 - 会 長 押田芳治 (名古屋大学総合保健体育科学センター保健科学部)
 - 参加者 850 名
- 5) 第 48 回日本糖尿病学会近畿地方会
 - 会 期 平成 23 年 10 月 29 日 (土)
 - 会 場 大阪国際会議場
 - 会 長 花房俊昭 (大阪医科大学内科学 I)
 - 参加者 2,186 名
- 6) 第 49 回日本糖尿病学会中国・四国地方会
 - 会 期 平成 23 年 11 月 11・12 日 (金・土)
 - 会 場 アスティとくしま
 - 会 長 松本俊夫 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部生体情報内科学)
 - 参加者 950 名
- 7) 第 49 回日本糖尿病学会九州地方会
 - 会 期 平成 23 年 10 月 14・15 日 (金・土)
 - 会 場 アクロス福岡
 - 会 長 高柳涼一 (九州大学大学院医学研究院病態制御内科学)
 - 参加者 2,030 名
- 4. 分科会活動
- 1) 第 26 回日本糖尿病合併症学会
 - 会 期 平成 23 年 10 月 14・15 日 (金・土)
 - 会 場 大宮ソニックシティ

会 長 川上正舒（自治医科大学附属さいたま医療センター）

参加者 900 名

5. 出版事業

①会誌「糖尿病」第 54 巻 4 号，サプルメント 1（抄録集）～第 55 巻 3 号まで，13 回発行

会誌 Diabetology International

②糖尿病患者向け指導書

1) 糖尿病食事療法のための食品交換表 第 6 版
100,000 部発行

2) 糖尿病治療の手びき 改訂第 55 版
50,000 部発行

3) 糖尿病性腎症の食品交換表 第 2 版
増刷なし

4) 糖尿病食事療法のための食品交換表 CD-ROM 版（ver. 4）
1,000 部発行

5) 糖尿病性腎症の食品交換表 CD-ROM 版（ver. 2）付き
増刷なし

6) Food Exchange List 500 部発行

7) 糖尿病食事療法のための食品交換表 活用編
5,000 部発行

③医師，コ・メディカル向け指導書

1) こどもの糖尿病・サマーキャンプの手引き 第 3 版
増刷なし

2) 糖尿病食事療法指導のてびき 第 2 版
増刷なし

3) 糖尿病療養指導の手びき 改訂第 3 版
増刷なし

4) 糖尿病治療ガイド 2010 10,000 部発行

5) 糖尿病学用語集 第 3 版 増刷なし

6) 糖尿病遺伝子診断ガイド 第 2 版 増刷なし

7) 糖尿病専門医研修ガイドブック 改訂第 4 版
増刷なし

8) 小児・思春期糖尿病管理の手びき改訂第 3 版
2,500 部発行

9) 糖尿病学の進歩 45 集 1,200 部発行

10) 糖尿病の療養指導 2011 1,200 部発行

11) 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン 2010（改訂第 3 版）
3,000 部発行

12) Treatment Guide for Diabetes 2007 増刷なし

6. 糖尿病週間

平成 23 年 11 月 14 日～20 日，第 47 回全国糖尿病週間の行事が一斉に行われた。テーマは「連携による糖尿病治療の継続」。

7. 国際糖尿病連合会議

・IDF-WPR Council Meeting（2011. 12. 2, Dubai, UAE）への出席

・IDF General Council Meeting（2011. 12. 3, Dubai, UAE）への出席

8. 普及・啓発・後援事業

①第 47 回全国糖尿病週間の共催

期間 平成 23 年 11 月 14 日～20 日

②日本糖尿病協会への協力

「さかえ」および「つぼみ」発行の企画等

③世界糖尿病デーへの参加

第 5 回「世界糖尿病デー」関連イベントの開催
平成 23 年 11 月 14 日

④「メタボリックシンドローム撲滅運動キャンペーン」 平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

⑤より良い特定健診・保健指導のためのスキルアップ講座 平成 23 年 6 月 19 日・6 月 26 日

⑥世界口腔保健学術大会記念「第 17 回口腔保健シンポジウム」 平成 23 年 7 月 9 日

⑦第 4 回 JSDEI セミナー「肥満・糖尿病，栄養と口腔保健推進セミナー」
平成 23 年 7 月 31 日

⑧第 28 回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー
平成 23 年 8 月 27 日～28 日

⑨平成 23 年度「糖尿病シンポジウム」
平成 23 年 9 月 10 日・10 月 15 日

⑩食と生命のサイエンス・フォーラムーコーヒーと糖尿病についての最新知見ー
平成 23 年 11 月 2 日

⑪第 11 回日本先進糖尿病治療研究会
平成 23 年 11 月 19 日

⑫第 23 回分子糖尿病学シンポジウム
平成 23 年 11 月 26 日

⑬糖尿病予防キャンペーン 西日本地区講演会
平成 23 年 11 月 20 日

⑭平成 23 年度「食育健康サミット」
平成 23 年 12 月 1 日

⑮第 23 回日本糖尿病性腎症研究会
平成 23 年 12 月 3 日～4 日

⑯東京新聞健康講座「おいしい食事で糖尿病を予防しよう」
平成 23 年 12 月 11 日

●庶務報告

1. 総会

平成 23 年 5 月 19 日，さっぽろ芸術文化の館にて第 54 回通常総会を開催した。平成 22 年度事業報告，庶務報告，収支決算報告が承認され，また平成 23 年度補正

予算ならびに平成 24 年度事業計画および予算が承認された。第 57 回会長に花房俊昭学術評議員が選出・承認された。

2. 評議員会および学術評議員会

平成 23 年 5 月 18 日にそれぞれ開催された。

3. 理事会

定例理事会は平成 23 年 5 月 18 日, 11 月 27 日, 臨時理事会は平成 24 年 3 月 1 日の合計 3 回開催された。

●会員状況報告 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

1. 役員等

1) 役員

理 事 18 名 (22 年度末 18 名)

監 事 2 名 (22 年度末 2 名)

2) 学術評議員 673 名 (22 年度末 608 名, 65 名増)

2. 会員等

1) 名誉会員 30 名 (22 年度末 29 名, 追加 2 名, 物故者 1 名)

2) 正会員

23 年 3 月末日会員数 16,642 名

23 年度新入会 600 名

名誉会員へ -2 名

23 年度退会 -491 名 退会内訳:
希望退会 332 名
会費未納による資格喪失 (現定款) 114 名
物故 45 名

正会員 現在数 16,749 名 (107 名増)

3) 賛助会員

23 年 3 月末日会員数 45 名

賛助会員 現在数 45 名

3. 物故会員

名誉会員 山吹隆寛

功労学術評議員 川合厚生 近藤甲斐夫 新実光朗
松田文子

学術評議員 小森克俊 仁木一郎 森山啓明
吉松博信

正会員 赤堀 進 安藤昭四郎 井川宗彦

石井 純 石澤文彦 泉原弥太郎

板垣晃之 市川勝之 岩尾 仁 大久保泰

大谷晴彦 大野繁一 荻原 通 香河一郎

鎌田勝雄 菊入 剛 小松真生 小助川治

佐々木俊輔 佐野隆志 澤辺 宏

下村宏之 清水陽一 末井 泉 田代祐基

谷口理香 中尾隆介 中嶋美鐘 中野儀人

新野洋一 野口友義 彦坂直道 藤原久義

松尾栄一 森本光明 横内 章 吉田 稔

(敬称略, 連絡のあった方のみ)

2. 委員会報告

I. 「糖尿病」編集委員会

委員長 小泉順二

委員会の開催 7 回: 平成 23 年 4 月 17 日, 5 月 19 日, 7 月 31 日, 9 月 25 日, 11 月 23 日, 平成 24 年 1 月 29 日, 3 月 18 日

1. 出版状況: 第 54 巻 4 号から第 55 巻 3 号までの 12 誌と Supplement 「第 54 回年次学術集会抄録号」を発行した。詳細は次頁の表の通りである。

2. 論文受付状況: 平成 23 年 4 月 1 日より平成 24 年 3 月 31 日までの論文投稿数

(受付総数) 160 編 (原著 (含コメディカルコーナー) 61 編, 症例 84 編, 短報 6 編, 報告 3 編, 編集者への手紙 4 編, コメディカルコーナーミニレビュー 1, 編集委員会報告 1 編), この期間に採否を決定した論文数は 157 編 (可 86 編, 否 64 編, 辞退 7 編), 採択率は 57% であった。採択日から掲載までの期間は約 3 か月。

3. 活動内容 (審議・検討した主たる事項)

1) 委員改選に伴い委員長選出を行った結果, 引き続き, 委員長に小泉順二理事, 副委員長は吉岡成人委員に決定した。

2) 投稿規定の大幅改訂を行った。コメディカルコーナーを廃止し, 原著論文の内容を 6 つに分類分けした。また倫理規定や利益相反 (COI), HbA1c についての記載も当学会の指針に準じて明確にした。COI 申告開示の記載は 8 号掲載論文から開始した。全ての論文に英文要約を付けることを義務付けた。

3) 査読書類に新たに内容に関するチェックリストを追加した。

4) 第 54 回年次学術集会でのシンポジウム「災害時の糖尿病医療」「災害時のチーム医療」の講演内容を特別報告 (Timely Report) として 8 号と 9 号に掲載した。

5) リリー賞受賞講演原稿は, 昨年発刊した英文誌 「Diabetology International」に掲載し, 和文誌には要約程度の内容を掲載することとした。

6) 広告に関する内規の整備を行った。

7) 広告代理店丹水社との契約を終了し文京メディカル社に変更した。

8) 個人情報保護指針案を現在検討中である。

II. 「Diabetology International」編集委員会

委員長 春日雅人

今年度は平成 23 年 5 月 19 日, 平成 24 年 3 月 3 日の

	総頁数	原著	症例	短報	報告	地方会	ミニ レビュー	編集者 への手紙	特集	その他
Vol. 54 No. 4	84	1	3		1	中四国		1	1	
Supplement 1	517	第 54 年次学術集会抄録号								
No. 5	65	3	4			中部	1			
No. 6	76	2	4			中四国				
No. 7	180	2	1			九州			1	会報
No. 8	55	1	4			関甲信				特別報告
No. 9	66	1	2			1				特別報告
No. 10	47	3	5							
No. 11	45	3	3							受賞講演
No. 12	65	3	3						1	総目次
Vol. 55 No. 1	89	2	4			九州 (1)	1			会報
No. 2	83	3	4			九州 (2)				
No. 3	59	3	4			中部				
合計	1,431	27	41	0	1	9	2	1	3	6

2 回委員会が開催された。また、英文誌 Diabetology International 第 1 巻 1 号 (2010 年 12 月)、第 2 号 (2011 年 3 月)、第 2 巻 1 号 (2011 年 5 月)、第 2 号 (2011 年 7 月)、第 3 号 (2011 年 11 月)、第 4 号 (2011 年 12 月)、第 3 巻 1 号 (2012 年 3 月) をほぼ予定通り刊行することができており、第 3 巻 2 号は 2012 年 6 月に刊行を予定している。投稿論文は 8 編以上/月が目標であるが、2010 年は 5.6 編/月、2011 年は 6.6 編/月であり、今一層のご協力をお願いしたい。採択率は 2010 年…53%、2011 年…53% で original article と case report についての平均初回査読期間は 2010 年…48 日、2011 年…30 日であった。皆様のご協力により査読期間がかなり短縮したがあと 4～5 日の短縮を目指したい。当面の目標は Impact Factor の取得であり、そのために必要な事項について検討を行った。

III. 「食品交換表」編集委員会 委員長 石田 均

1. 委員会の開催

食品交換表編集委員会を平成 23 年 5 月 21 日、7 月 24 日、10 月 2 日の 3 回、カーボカウント小委員会を平成 23 年 5 月 21 日*、7 月 24 日午前、同日午後*、10 月 2 日午前、同日午後*、平成 24 年 3 月 18 日午前の 6 回開催し (*は食品交換表編集委員会と合同)、食品交換表改訂小委員会を平成 23 年 10 月 2 日午後、11 月 20 日、平成 24 年 3 月 18 日午後の 3 回開催した。

2. 出版事業について [平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日、() は発行以来の累計部数]

1) 食品交換表 第 6 版

売上部数：142,304 部 (2,695,257)、発行部数：100,000 部 (2,800,000)

2) 糖尿病性腎症の食品交換表 第 2 版

売上部数：5,207 部 (96,322)、発行部数：0 部 (98,000)

3) 糖尿病食事療法指導のてびき 第 2 版

売上部数：1,142 部 (18,768)、発行部数：0 部 (21,000)

4) 食品交換表の英訳版

売上部数：289 部 (2,651)、発行部数：500 部 (3,400)

5) CD-ROM 版食品交換表 (ver. 4)

売上部数：736 部 (1,905)、発行部数：1,000 部 (3,000)

6) CD-ROM 版 (ver. 2) 付糖尿病性腎症の食品交換表

売上部数：80 部 (2,162)、発行部数：0 部 (2,500)

7) 食品交換表 活用編

売上部数：8,103 部 (64,650)、発行部数：5,000 部 (70,000)

3. 引用許可願いの審査 (23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

1) 食品交換表 第 6 版：申請 28 件

無条件許可 12 件、条件付き許可 14 件、審査中 2 件。

2) 糖尿病性腎症の食品交換表 第 2 版：申請 1 件で、条件付き許可。

4. 小委員会の活動と食品交換表などの改訂について カーボカウント小委員会作成の「カーボカウント

の手引書」原案をもとに、平成 23 年 11 月 27 日の理事会にて、渥美理事から概要説明を行っていた。現在は、原案をリライトして患者向けと指導者向けの手引書を作成中であり、来春発行の予定である。

また、学術評議員を対象に行ったアンケートの結果をふまえて、「食品交換表」などの改訂作業を行っており、「食品交換表」の第 7 版と「糖尿病食事療法指導のてびき」の第 3 版も、来春発行の予定である。

IV. 「糖尿病治療の手びき」編集委員会

委員長 石塚 達夫

1. 今年度は、2011 年 5 月 19 日（第 54 回日本糖尿病学会総会会期中）および 2012 年 3 月 3 日（第 46 回糖尿病学の進歩会期中）の 2 回の委員会を開催した。

2. 2011 年度選出委員を以下の通り確認した。

<2011 年度選出>

関口 雅友	札幌厚生病院第一内科
成田 琢磨*	秋田大学内分泌・代謝・老年医学分野
間中 英夫	山形県立中央病院内科
島田 朗*	東京都済生会中央病院糖尿病・内分泌内科
植木 彬夫	東京医科大学八王子医療センター内科
石塚 達夫*◇	岐阜大学総合病態内科学分野
藤本 新平	高知大学内分泌代謝・腎臓内科学
絵本 正憲*	大阪市立大学代謝内分泌病態内科学
山根 公則*	NTT 西日本中国健康管理センター
岩瀬 正典	九州大学病態機能内科学
岡 芳知☆	東北大学糖尿病代謝科
荒木 栄一☆	熊本大学代謝内科学分野

* : 2011 年度選出 (2011~2014 年度)

無印: 2009 年度選出 (2009~2012 年度)

◇ : 委員長

☆ : 担当理事

3. 『糖尿病療養指導の手びき』の改訂について

2011 年 9 月の原稿締切後に、委員会で全原稿の検討を行い、2012 年 2 月まで委員会査読による原稿を修正し、2012 年 3 月 3 日の委員会時には初校の確認を行った。現在、2012 年 5 月の第 55 回日本糖尿病学会までの刊行を目指して最終進行中である。尚、内容の検討を委員会、理事会による最終確認を経て決定する予定。特に HbA1c の表記について①基本的に「NGSP 値」として表記する。とくに断り書きがないものは NGSP 値であり、JDS 値からは換算式を用いて換算する。②過去の経緯

の解説等において、JDS 値あるいは国際標準値を記載する必要がある場合には、「HbA1c (JDS)」あるいは「HbA1c (国際標準値)」として、個々に記載する。本書冒頭に HbA1c の表記法の基本方針を記した頁を設けることを確認した。

4. 2012 年 5 月刊行予定、印刷部数：初刷 3,000 部

1) 『糖尿病療養指導の手びき (改訂第 3 版)』(07 年 5 月刊)：約 4,000 部 (2012 年 2 月末現在)

2) 『糖尿病治療の手びき (改訂第 55 版)』(11 年 5 月刊) 約 23,000 部 (2012 年 2 月末現在)

V. 小児糖尿病委員会

委員長 雨宮 伸

1. 「小児・思春期糖尿病の手びき (改訂第 3 版) — コンセンサスガイドライン」が平成 23 年 6 月に刊行された。日本小児内分泌学会糖尿病委員会との共同編集で行った。

第 4 版は平成 25 年度の「科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン」の刊行後の平成 26 年度を目標に準備する。

2. 2011 年の ISPAD サイエンススクールの日本での開催延期となった。

2012 年 8 月 31 日 (金) ~ 9 月 5 日 (水) 京都市サテライトパークで開催が決定された。引き続き日本糖尿病学会と日本糖尿病協会の後援を受けることになっている。

3. 小児科医の糖尿病学会への参加および活動充実について

1) 小児糖尿病委員会へのオブザーバー参加者が日本小児内分泌学会から地域性も考慮されて推薦された：内潟安子評議員、杉原茂孝評議員、藤原幾磨会員、菊池 透会員、都 研一会員

2) 小児科医が糖尿病専門医を取得できる施設の条件緩和、小児科カリキュラムの作成が行われた。

3) 専門医試験問題への小児科枠の設定が要望された。

4) 小児科医の評議員枠の設定が要望された。

5) 小児科医が多く参加する研究会への日本糖尿病学会からの後援と専門医更新のための参加点数の確保：平成 24 年度から小児・思春期糖尿病シンポジウムが対象となった。

6) 専門医更新のための講義の受講について、小児科医の参加の機会を増やすために、日本小児内分泌学会や小児・思春期糖尿病シンポジウムにおける講義枠も認めてもらうよう要望が出された。

7) CSII の保険点数増加に伴い、小児慢性疾患の適応を超えた年齢の対象者への助成について検討していくこととした。保険点数の増加についての申請は日本小児内分泌学会からも共同で行われた。

VI. 日本糖尿病協会委員会 委員長 濱口和之
 委員会は平成 23 年 5 月 19 日に開催され、直後に日本糖尿病協会との合同委員会も開催された。担当理事ならびに各支部の委員により、日本糖尿病協会の活動との連携を通じた患者療養支援につき意見交換がなされた。また、海外、特にアジアや西太平洋地域における糖尿病療養支援を展開する方法についても、引き続き検討して行くことを確認した。

1. 糖尿病対策推進会議の地区活動状況の把握

前年度の（都道府県別）地区活動報告と当該年度の予定を回覧した結果、活動状況の質問項目に、学会と協会の連携について記述する欄を設けることが提案された。

2. 東日本大震災の義援金について（学会・協会合同委員会）

学会および協会における震災後の対応の経過が報告され、協会に設置した義援金受付状況、年次学術集会で集まった支援金を協会の義援金に加える件を確認した。また、義援金の使途についても委員間で合意がなされた。

VII. 選挙管理委員会 委員長 加来浩平
 委員 渥美敏也 鈴木 進 石田 均 榊原文彦
 中村直登 澤野文夫 豊永哲至

1. 例年同様、本委員会は郵便、e-mail 等を利用して委員会活動を進めていくこととし、従来の申し合わせに従い、理事会推薦の加来浩平委員を委員長とし、以下の事項を確認した。

24 年度「会長選挙」の手順は前年度「会長選挙手順」を踏襲し、

- ・支部からの推薦締切日は平成 23 年 11 月 15 日（火）とする。
- ・推薦された方の意思確認は 11 月 22 日（火）までに事務局必着とする。
- ・理事長への報告は 11 月 25 日（金）までに行う。
- ・11 月 27 日（日）の定例理事会で、最終候補者 3 名を決定する。
- ・候補者の所信のフォーマットは前年度と同様とし、平成 24 年 1 月 10 日（火）を締切日とする。
- ・候補者の所信が提出された後に委員会を開催する。

2. 平成 24 年 2 月 11 日に委員会を開催し、以降の進め方について協議検討した。

1) 会長選出手順およびこれまでの手順についてそれぞれ確認した。

2) 所信の確認

3 名の候補者から提出された所信について、内容、印刷の字体や文字数、行間隔などを検討し、本人

への指摘事項を決定した。

3) 今後の手順について

所信の手直し終了後に、規則に則り従来の形で理事長への報告、会員への周知、学術評議員への所信の送付等を行うことが確認された。

4) 学術評議員会での投票手順の確認について

①開票作業には、会長候補者のいない支部の委員と、候補者のいない支部から委員長が指名した者、委員長を含めて合計 8 名である。今回は北海道支部、東北支部、近畿支部、および九州支部所属の出席者から、3 名に依頼する。

また、委員に欠席者がある場合は、上記 4 支部所属の出席者の中から追加して依頼する。

②昨年と同様に投票用紙配布直前に会場を閉鎖し、回収後開放する。このことは、学術評議員へ候補者の所信を送る際に記載する。

③今回も候補者名を予め投票用紙に記載し、所定の欄に丸印を付したものを有効とする。

④最多得票者に決定する。同数の場合は学会入会年月日の早い者とする。

⑤各候補者の得票数は公表する。

⑥迅速に開票作業を行うため、投票用紙を折り曲げて投票する場合は「横二つ折りまで」とすることを注意事項として通達する。

以上は、議場で予め公表する。

VIII. 年次学術集会運営委員会 委員長 春日雅人
 2011 年 12 月 11 日（日）に大阪市を訪問し、第 57 回年次学術集会の会場視察を行い、委員会を開催した。

IX. 「糖尿病学の進歩」プログラム委員会

委員長 春日雅人

平成 23 年 4 月 9 日に委員会を開催し、第 46 回「糖尿病学の進歩」を、予定通り平成 24 年 3 月 2～3 日に盛岡市で開催できることが佐藤譲世話人から報告された。プログラムに関しては、「糖尿病学の進歩」は post-graduate course としての性格をより明確化した観点から作成することが確認された。また、第 47 回「糖尿病学の進歩」は住田安弘世話人から平成 25 年 2 月 15～16 日に四日市市で開催される予定であることが報告された。「糖尿病学の進歩」の開催に際して従来から出版されていた「糖尿病学の進歩」ならびに「糖尿病の療養指導」の 2 冊の書籍については、今後その出版を中止する方向で合意されているが、その代替案についての検討が不十分の為、第 46 回については書籍として出版するとともに、一部の講演に関して e-learning ならびに DVD 化の為に収録を試験的に行うこととした。

X. 内科系学会社会保険連合

委員 梅田文夫, 加来浩平, 渥美義仁

本学会が内保連などを通して要望してきた提案のいくつかが、平成 24 年春の診療報酬改定において認められた。一つは、日本病態栄養学会と協同提案してきた“糖尿病腎症の進行予防を目的とする腎症病期に応じた管理栄養士による食事指導の新設”が、“糖尿病透析予防指導管理料”(350 点)という形で実現した。厚労省原案に対して、病態栄養学会と様々要望して発表の形となった。高医療費の透析治療を、チーム医療で予防することが求められているので、指導の質を担保し成果を出すことが本学会の責務である。二つ目は、以前から提案していた間歇注入シリンジポンプ加算の分割で、プログラム付きポンプ加算の新設(2,500 点)と、CSII での確認・調整時の在宅自己注射指導管理料の新設(1,230 点)である。今回の改定で、これまで医療費の面で CSII を躊躇していた施設が始めやすくなる。しかし、今回の改定で、CSII の病院負担は軽減するが、患者の負担は増す。今後、学会として患者の費用負担軽減策を提案していく予定である。三つ目は、在宅妊娠糖尿病患者指導管理料(150 点)の新設である。この管理料を算定した患者に対しては、非インスリン使用例であっても血糖自己測定器加算が算定可能となった。

DPC 関連は、平成 23 年度診断群分類見直しで(厚労省)糖尿病関連の班(班長:渥美)を通して、①CGM を包括から出来高評価へ移行、②副傷病名としての糖尿病の扱い改善、③糖尿病専門医の周術期管理による在院日数短縮の評価、などを要望した。

XI. 日本医学会に関する報告 評議員 門脇 孝

平成 23 年 4 月 8 日～10 日に東京国際フォーラムで開催予定であった、第 28 回日本医学会総会は、3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、会場での講演会・博覧会は中止となった。学術講演・展示については電子媒体や WEB にて開催された。

平成 24 年 2 月 22 日に第 79 回定例評議員会が開催された。日本脊椎髄病学会、日本緩和医療学会の新規加盟が承認された。平成 24 年 4 月 1 日から 2 年間の次期役員として、会長に高久史麿、副会長に清水孝雄、久道茂、門田守人の各氏が選出された。

XII. 国際交流に関する報告 委員長 田嶋尚子

1. 委員会の開催

第 1 回日本糖尿病学会・日本糖尿病協会合同国際交流委員会を 2012 年 3 月 3 日(盛岡)で開催した。

2. 平成 23 年度の活動

1) IDF 部会

IDF World Diabetes Congress が 2011 年 12 月 4～8 日(Dubai, UAE)に開催された。会期中に開かれた IDF Board Meeting で役員の改選選挙がおこなわれ、次々期会長としての Dr. Shaukat Sadikot(インド)が選出された。Youth Leaders in Diabetes Program には日本から、堀田優子氏と石丸吹雪氏を派遣した。今後の活動については選考委員会を立ち上げ人選することとした。恒例の Global Village では、日本糖尿病学会は日本糖尿病協会との合同ブースを設営し、学会として 2012 年に京都で開催される IDF-WPR 会議の広報関連の内容を中心に展示した。

第 9 回 IDF-WPR Congress 2012 が 2012 年 11 月 25 日～27 日(京都)にて開催される。プログラム内容の最終確認を行っている。

世界糖尿病デー(11 月 14 日)にむけて、実行委員会を 7 月 29 日に開催した。2011 年度は全国約 103 ヶ所(実行委員会に報告があったもの)の建造物がブルーにライトアップされ、糖尿病対策に関するさまざまなイベントが行われた。会計報告は合同委員会において承認可決された。本企画は 2007 年を第 1 回とし 5 年間の事業として計画され、本年度で一応の区切りを迎えたが、次年度も継続して活動することで合意した。

2) AASD 部会

AASD は 2012 年 2 月 8 日付けで、一般社団法人アジア糖尿病学会(主たる事務所 東京都文京区本郷五丁目 25 番 18 号、代表理事 清野裕)として法人登記が完了した。担当に崔金燕(ツイ ジンエン)事務局員を採用した。

第 3 回 AASD 会議が 2011 年 7 月 22～24 日(北京)で開催された。MDIA (Molecular Diabetology in Asia) および AIBIS (Asian Islet Biology and Incretin Symposium)も AASD と同時開催された。AASD 会員数は 2011 年 12 月現在、約 1400 名で、2012 年度会員更新が進行中である。第 4 回 AASD 会議は、IDF-WPR Congress がアジア地域内で開催される場合には同時に開催するという規約により、第 9 回 IDF-WPR congress 2012 と同時に京都で開催する。

第 10 回日韓シンポジウム(門脇孝会長)が 2011 年 10 月 21～22 日に東京で開催された。第 2 回 AASD 常務理事会決定により、本シンポジウムは今回が最終回となり、今後は、日本糖尿病学会年次学術集会および韓国秋期糖尿病学会の折に新たにフォーラムを立ち上げることが両国で承認さ

れた。

3) JDI 部会

AASD の機関紙である JDI に対する投稿は順調に伸びているが、基礎医学分野の投稿が少ない。この分野の投稿増やインパクトファクターの向上にむけて注力している。

4) EASD 部会

第 47 回 EASD (2011 年 9 月 12~16 日, リスボン) において、第 2 回 East-West Forum シンポジウム: Diabetes: similarities and differences between East and West (co-Chair: EAM Gale, 田嶋尚子) が行われた。シンポジストとしてヨーロッパから K. Borch-Johnsen, 日本から植木浩二郎, 荒木栄一の両氏が参加した。500 人をこえる聴衆が集まり盛況であった。

EASD 会期中に、EFSD (European Foundation for the Study of Diabetes) との会議がもたれた (出席者: K Sommer EFSD 事務局員, Ulf Smith, Edwin Gale, 植木浩二郎, 山内敏正, 田嶋尚子)。EASD 側からは、EFSD/JDS Research Fellowships が予算も含めて承認されたこと、2012 年早春には応募要項を HP にアップする予定であるとの報告があった。JDS 側としては、若手研究者の育成支援活動に関する作業部会 (座長: 山内敏正) が設置され、ヨーロッパ側と双方向の短期留学制度の実施に向けて作業を進めている。EFSD/JDS 留学制度公募に関して、2012 年 1 月に EFSD, 糖尿病学会, 糖尿病財団の三者間での合意文書を締結した。現在、日欧で候補者を公募中 (締切 5 月 15 日) である。なお、第 55 回年次学術集会会期中に第 3 回 East-West Forum を開催する。

5) ISPAD 部会

東日本大震災の影響で開催延期となっていた国際小児思春期糖尿病学会 (ISPAD) 主催の Science School for Physicians (実行委員長 浦上達彦, 日大小児科) が、2012 年 8 月 31 日~9 月 5 日に京都で開催される。

XIII. 学術調査研究・教育に関する報告

委員長 春日 雅人

委員会を 2011 年 7 月 18 日と 10 月 10 日の 2 回開催し、以下の点が決定された。

1. 若手研究奨励賞の細則について改正を行った。
2. 「東日本大震災からみた災害時の糖尿病医療体制構築のための調査研究」(佐藤譲委員長) を承認した。
3. 「アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究」(中村二郎委員長) を承認した。

4. 「糖尿病新診断基準の検証に関する研究」を公募し、5 件の申請があった。書面審査と合議の結果、伊藤千賀子氏, 向井直子氏, 福島光夫氏, 中神朋子氏に研究助成費を授与することとした。

5. 「日本人 1 型糖尿病の成因, 診断, 病態, 治療に関する研究」(共同委員長: 花房俊昭委員長・小林哲郎委員長) を承認した。

1) 糖尿病関連検査の標準化に関する調査検討委員会
Committee on the standardization of diabetes-related laboratory testing

(開始: 2007 年 8 月 19 日) 委員長 柏木厚典

HbA1c (国際標準値) の糖尿病診断への導入: 2010 年 7 月 1 日から、糖尿病の新診断基準に HbA1c 値の表記法の提言がなされ、日常診療では当面 HbA1c (JDS 値) を使用し、論文、国際学会での発表は、 $HbA1c (\text{国際標準値}) = HbA1c (\text{NGSP 相当値}) = HbA1c (\text{JDS 値}) + 0.4 \%$ であることが決定された。2011 年 6 月 10 日より数回にわたり、門脇孝理事長, 植木浩二郎事務局長と柏木が中心に、HbA1c の国際標準化対応に関して厚生労働省, 日本医師会を含む関連団体と協議し、HbA1c 測定系, 表記法は 2012 年 4 月 1 日から国際標準化対応とし、HbA1c (JDS 値) と二重表記する。但し特定検診は 2013 年 3 月 31 日まで現在の HbA1c (JDS 値) を利用して行なうことが決定された。

HbA1c の国際標準化に関する新しい展開~JDS 値から NGSP 値へ~: 2011 年 10 月 1 日, 検査医学標準物質機構 (ReCCS) が、JDS 値をきめる我国の標準物質 JDS Lot4 (JCCRM411-2) を用いて、標準測定法である KO500 法で、NGSP のアジア地区基準測定施設 (ASRL) としての認証を取得した。NGSP 認証値との関係式が $HbA1c (\text{NGSP}) = 1.02 \times HbA1c (\text{JDS}) + 0.25$ (小数点以下第二位四捨五入) にて換算できることとなった。測定誤差 2~3 % を考慮すると、従来提示した $NGSP \text{ 相当値} = JDS \text{ 値} + 0.4 \%$ の式は臨床的に使用可能であることが確認された。また新旧 HbA1c の区別は、従来の JDS 値は HbA1c (JDS) 値, NGSP 値は HbA1c (NGSP) 値と記載するが、医療情報処理上 5 文字制限がある場合には、後者を「A1C」と記載してもよいとした。ただし、その場合何らかの注釈にて HbA1c (NGSP) 値であることを示すこととした。各種関連学会、関連機関・団体、患者等へ周知徹底のためのパンフレットの配布を進めている。

今後の動向: ヨーロッパでは IFCC 表記が広がっている。今後の我国の課題は、HbA1c 値をその定義に沿った IFCC 値 (mmol/molHb) にて表現することを進めてゆく必要があるが、当面 NGSP 値になれたのち、将来は IFCC 値と併記する方向で検討する必要があると考えている。更に、血漿インスリン測定の標準化に

についても、和歌山医科大学三家登喜夫教授を中心に検討していただいている。

2) 1 型糖尿病調査研究委員会 (開始: 2007 年 12 月 23 日)

共同委員長: 花房俊昭

共同委員長: 小林哲郎

本委員会は以下のような研究成果を挙げ、当初の目的を達成したので平成 23 年度で終了する。なお、新しい委員会として「日本人 1 型糖尿病の成因、診断、病態、治療に関する調査研究委員会」が承認されたので、平成 24 年度からは新しい委員構成で 1 型糖尿病の課題に引き続き取り組む。

① 劇症および急性発症 1 型糖尿病分科会 (分科会委員長: 花房俊昭)

急性発症 1 型糖尿病の診断基準は、最終案を作成中である。劇症 1 型糖尿病 class II HLA の大規模研究は論文発表を行った (J Diabetes Invest 3 (1): 62-69, 2012)。2 型糖尿病に合併した劇症 1 型糖尿病の診断については「糖尿病」に論文が accept され、掲載予定である。皮膚科学会と合同で行っている薬剤誘発性過敏性症候群 (DIHS) 合併劇症 1 型症例の実態調査については、症例の集積を終え、論文投稿準備中である。劇症 1 型糖尿病の MRI 所見については 2011 年糖尿病学会年次学術集会で報告し、現在も継続調査中である。

② 緩徐進行 1 型糖尿病分科会 (分科会委員長: 小林哲郎)

- ・ 緩徐進行 1 型糖尿病の診断基準を検討合議の上、成案を得たので論文とすることとなった。(糖尿病投稿予定)

- ・ 委員会施設における糖尿病発症 5 年以内例の臨床像の前向き検討: これまでに 589 例を集積し、インスリン非依存糖尿病例中に約 10 % の膵島関連自己抗体 (GAD 抗体 and/or IA-2 抗体 and/or IAA) 陽性例を認めた。GAD 抗体陽性率は他の抗体と比べて有意に高頻度であった。これらの結果について機関誌「糖尿病」で委員会報告を行った (糖尿病 54: 65-75, 2011)。

- ・ 全国調査: 現在まで 39 施設の登録を受けている。さらに登録を増やし緩徐進行 1 型糖尿病の実態を明らかにして行く。

③ 遺伝子解析チーム (チームリーダー: 池上博司)

日本人 1 型糖尿病の体質を明らかにして、診断・予防・治療に資する情報を得ることを目的に、3 つのサブタイプ (急性発症、劇症、緩徐進行) の疾患感受性遺伝子解析の網羅的解析を継続して進めている。密な SNP (900K) を用いたゲノムワイドのアソシエーションスタディ (GWAS)、二次パネルを用いた再現性解析を完了し、有望な SNP

の三次パネルでの検証を進めるとともに、GWAS データの imputation, HLA 層別解析、欧米 GWAS で同定された領域の解析からも複数の新規候補 SNP を抽出し、検証解析を進めている。

3) 日本を含めたアジア地域のメタボリックシンドロームの臨床像の把握およびその原因の解明に関する調査研究委員会

委員長 南條輝志男

日本を含めたアジア地域においてメタボリックシンドロームの重要性は幅広く認知されているものの、その診断基準においては腹部肥満を必須項目とするかどうかやウエスト周囲長のカットオフ値について議論がある。2009 年に IDF や AHA/NHLBI 等から、腹部肥満を診断の必須項目とせず、ウエスト周囲長のカットオフ値に関しては国・地域や民族ごとに異なる値が設定されることを容認する声明が発表された。特に、我が国では日本人のエビデンスに基づきウエスト周囲長のカットオフ値を男性 85 cm・女性 90 cm としているが、IDF では一律にアジア地域におけるウエスト周囲長のカットオフ値を男性 90 cm・女性 80 cm としている。

本委員会では我が国の施設に加え、モンゴル・韓国の施設からも身長・体重・ウエスト周囲長・服薬情報と心血管イベントのリスクファクター (血糖高値・血圧高値・脂質異常) に関するデータを収集した。ウエスト周囲長と BMI との関連、ウエスト周囲長とリスクファクター数の関連、ウエスト周囲長とリスクファクター集積の関連などについて、統一した方法により解析を実施した。

平成 23 年度を以て本調査研究委員会の活動を終了するが、これら解析結果を踏まえ、日本を含めたアジア地域におけるメタボリックシンドロームの臨床像ならびにウエスト周囲長のカットオフ値の設定に関する調査研究報告を発表する予定である。

4) アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究委員会

委員長 中村二郎

委員: 羽田勝計, 稲垣暢也, 谷澤幸生, 荒木栄一, 植木浩二郎, 中山健夫, 神谷英紀

メールによる持ち回りの委員会を通して、最終的なアンケート用紙の内容が確定し、ホームページからの Web 入力用システムを作成中である。過去 5 年間の年次学術集会において演題登録のあった施設データを入力することができ、Web 入力用システム完成を待ってアンケート調査の依頼を開始する予定である。

5) 東日本大震災からみた災害時の糖尿病医療体制構築のための調査研究委員会

委員長 佐藤 譲

委員: 佐藤 譲 (岩手医大), 横野浩一 (神戸大),

片桐秀樹（東北大）、渡辺 毅（福島医大）、
八幡和明（長岡中央総合病院）、高橋和眞（岩
手医大）、石垣 泰（東北大）、佐藤博亮（福
島医大）、土屋陽子（岩手県立大学）、安藤里
恵（岩手県立大学）、小坂未来（事務局）、清
水裕子（事務局）

＜研究経過＞

本研究班は将来の災害に備えた糖尿病医療の緊急時
さらには中長期的支援対策を構築することを目的に
2011 年 5 月に発足した。具体的には東日本大震災の被
災 3 県（岩手、宮城、福島）の被災糖尿病患者と医療
従事者（医師、看護師、栄養士、薬剤師、医療支援チ
ーム）を対象に東日本大震災が糖尿病および糖尿病医療
に及ぼした影響について調査し、それに基づいて糖尿
病に関する災害時対応マニュアルを作成することを最
終目標にしている。

平成 23 年 9 月 4 日に第 1 回委員会（仙台）を開催し、
糖尿病患者および医療従事者向けのアンケート用紙に
ついて議論し、完成させた。

平成 23 年 11 月 3 日までに 1,181 の病院・診療所
（内科）（岩手 493、宮城 665、福島 724）、1,161 の院外薬
局（岩手 291、宮城 1,079、福島 61）、298 の災害派遣チ
ーム（岩手 194、宮城 70、福島 34）にアンケート用紙を
発送し、平成 24 年 1 月 6 日までに回収した。回収率は医
師（12 %）、看護師（7.2 %）、病院薬剤師（4.2 %）、院
外薬局（44.6 %）、栄養士（3.9 %）、災害派遣チ
ーム（33.2 %）であり、患者 2,094 人を含む計 3,432 の回答を
得た。

アンケート内容は委員が分担して解析した。平成 24
年 4 月 15 日に第 2 回委員会（仙台）を開催し、アンケ
ート解析結果について発表、討論した。その後の方針に
ついて以下の合意を得た。

今後の方針：(1) 研究報告書の作成：アンケート内
容と解析結果の全データを記録した報告書（小冊子）を
作成する。(2) 糖尿病学会誌「糖尿病」に研究報告の要
点をまとめて投稿する。(3) 糖尿病に関する災害時対応
マニュアルの作成：アンケート調査結果を参考に糖尿
病患者および医療従事者向けの糖尿病に関する災害時
対応マニュアルを作成する。

XIV. 平成 24 年度坂口賞および学会賞に関する報 告

1. 坂口賞は、名和田新氏、原納優氏に授与する。
2. 学会賞審査委員会（委員長 仁木 厚）を平成 24
年 1 月 14 日に開催し、各受賞者を選出した。

1) 平成 24 年度ハーゲドーン賞

田嶋 尚子（東京慈恵会医科大学）

「小児期発症 1 型糖尿病の予後に関する国際共同

疫学研究」

2) リリー賞

- ・柴崎忠雄（神戸大学大学院医学系研究科細胞分
子医学）

「インスリン分泌における cAMP センサー
Epac2A の機能とその役割の解明」

- ・松岡孝昭（大阪大学大学院医学系研究科内分
泌・代謝内科）

「糖尿病状態における膵 β 細胞機能障害の分子
機構の解析」

XV. 学会認定事業に関する報告

1. 専門医認定委員会 委員長 谷澤幸生

委員会は小委員会も含め 8 回開催された。平成 23
年度の専門医試験は 289 名が受験し、265 名（合格率
92 %）が合格した。研修指導医は 68 名（随時審査も含
む）、認定教育施設は 18 施設（無床 1 施設含む）、教育
関連施設 14 施設、連携教育施設 2 施設が新たに認定さ
れた。更新は専門医 642 名・研修指導医 230 名・認定
教育施設 99 施設であった。更新辞退者 34 名（退会者
19 名含）があり、平成 24 年 4 月における専門医数は
4568 名、研修指導医 1511 名、認定教育施設 613 施設
（無床 8 施設含）、教育関連施設 35 施設、連携教育施設
（小児科）5 施設である。

2012 年度から専門医更新のため指定講演聴講が義
務づけられるにあたり、その準備を進めている。専門
医全員に再度案内を送付することとした。WG を中心
にカリキュラムの改訂を進めている。それに伴い、
チェックリストの改訂を行った。同時に、教育施設の
在り方についての検討を開始した。

2. 専門医試験委員会 委員長 荒木栄一

平成 23 年 5 月 19 日、第 35 回試験委員会を開催し、
第 22 回専門医試験の試験方法と出題問題の作成分担、
口頭試験担当者、試験監督担当者を決めた。8 月 7 日に
委員長、数名の委員により試験問題のチェックを行い、
9 月 25 日に委員全員で試験問題の選定を行った。第 22
回専門医試験は、平成 23 年 10 月 23 日、都市センター
において実施した。受験者には昨年同様、事前に一部
出題範囲・面接での評価について公表し、選択問題も
マークシート方式で実施した。面接試験に関しては、
昨年専門医認定委員会との合同 WG で作成した面接
試験採点要項を使用して行った。

受験者は 289 名で、11 月 6 日に合否判定案を決定、
11 月 20 日専門医認定委員会に報告、265 名の合格（合
格率 92 %）が承認された。今年度も希望のあった受験
者に対し成績の開示を行なった。

第 23 回（平成 24 年度）の試験は平成 24 年 10 月 28
日（日）東京国際フォーラムにて、第 24 回（平成 25

年度)の試験は平成 25 年 10 月 27 日(日)都市センターにて実施を予定している。

XVI. 分科会に関する報告

日本糖尿病合併症学会 幹事長 羽田勝計

日本糖尿病学会の分科会である日本糖尿病合併症学会では、第 26 回日本糖尿病合併症学会年次学術集会を、川上正舒会長(自治医科大学附属さいたま医療センター)の下、平成 23 年 10 月 14、15 日の 2 日間、大宮ソニックシティにて開催した。

年次学術集会は、シンポジウム 6 題、そして一般演題は例年通り全てワーク・ショップ形式で行われた。市民公開講座も 10 月 15 日に開催された。本学会が設けた学会賞各賞の受賞者は以下の各先生である。Outstanding Foreign Investigator Award は Alan Chait 先生(Nutrition Obesity Research Center), Distinguished Investigator Award は河盛隆造先生(順天堂大学スポーツロジセンター), Expert Investigator Award は柏木厚典先生(滋賀医科大学医学部附属病院), Young Investigator Award は太田嗣人先生(金沢大学フロンティアサイエンス機構), 矢作直也先生(筑波大学大学院 内分泌代謝・糖尿病内科), 小川大輔先生(岡山大学大学院 糖尿病腎症治療学), 久米真司先生(滋賀医科大学内科学講座)に贈呈され、受賞講演が行われた。

第 27 回日本糖尿病合併症学会年次学術集会は、梅田文夫会長(行橋中央病院)の下、平成 24 年 11 月 2、3 日の 2 日間、第 18 回日本糖尿病眼学会(杏林大学 石田均会長)と合同で、福岡市、アクロス福岡にて開催されることが決定している。学会の機関誌「糖尿病合併症」は抄録号を含め 3 回発行された。

XVII. 糖尿病総合対策への取り組みに関する報告

理事長 門脇 孝

2011 年 12 月 21 日に開催された日本糖尿病対策推進会議第 13 回幹事会において、HbA1c の NGSP 値への変更の方針を述べて了解を得、4 月 1 日の変更に向けて啓発活動を行うことが了承された。また、同第 6 回 WG 会議が 10 月 13 日に開催され、糖尿病に関する尿中アルブミン実態調査に関し、報告のとりまとめおよび共有データベースの利用規定等について検討した。

1. 「対糖尿病戦略 5 ヶ年計画」作成委員会

委員長 岩本安彦

委員：渥美義仁、荒木栄一、稲垣暢也、植木浩二郎、佐倉 宏、谷澤幸生、野田光彦、花房俊昭、羽田勝計

委員会：開催なし

本委員会は平成 22 年 5 月、「第二次対糖尿病戦略 5 ヶ年計画」を策定・発表し、それに基づくアクションプラン DREAMS が発表された。現在、委員会としての活動は行われていない。

2. 「健康日本 21」の糖尿病対策検討委員会

委員長 伊藤千賀子

1) 委員会：1 回開催した(平成 24 年 3 月 20 日(祝日))

2) 委員会活動

3 月 20 日に委員全員が出席して以下の 2 点を検討して実施に移すこととした。

・糖尿病対策推進会議 地区担当者連絡会について検討

糖尿病対策について各県でどのように実施されているかを討議することは糖尿病対策推進会議の活動として極めて重要と思われるので、引き続き実施する。日時は 5 月 18 日 10 時 30 分~12 時、パシフィコ横浜にて実施予定。司会は佐藤譲委員と土井邦紘委員が担当。熊本県のねりんピックに合わせて行われたイベント、富山県の石橋修先生、滋賀県の前川聡先生、岐阜県の戸谷理英子先生からの報告を受けて糖尿病対策推進会議の地域活動の在り方を討議する。

・「糖尿病治療のエッセンス」の改訂に関して討議された。2011 年 12 月 21 日(水)に日本医師会館で開催された日本糖尿病対策推進会議の幹事会で、改訂版作成については承認されている。2012 年度から HbA1c (JDS) が HbA1c (NGSP) に変更されることもあってこの周知を図ることは極めて重要との認識で一致した。また、インクレチン関連薬が予想以上に使用されているので、これらについても詳細に記載する必要がある。出版は今年の秋を予定し、費用は日本医師会が負担することで承認された。出版先は前回と同じ文光堂に依頼する。

改訂作業の担当は項目別に分担した。病診連携が小林委員、診断は森川委員、吉岡委員、食事療法・運動療法は西村委員、内服治療と GLP-1 受容体作動薬は井口委員、野田委員、インスリンは佐藤委員、山田委員、合併症は大澤委員、土井委員と担当を分けた。なお、歯周病についてももう少し詳しく書く必要があるとの意見であった。

HbA1c は HbA1c (NGSP) を主にし、HbA1c (JDS) は字を小さく、色を変えるなどして表記する。

合剤(配合薬)の扱いは、詳細は書かないで簡単な記述に留める。今年末に出る薬も経口薬の後ろに付記する。食事療法では糖尿病腎症を追加して少し詳しく記述する。カーボカウントは入れない。

non-HDL コレステロールについて記載する。妊娠や高齢者糖尿病について少し詳しく記載。

今後の予定は6月20日を締め切りとして各委員から原稿を提出いただき、6月24日(日)13時-16時に委員会を開催して検討する。

3. 糖尿病データベース構築委員会

委員長 田嶋尚子

- 1) 糖尿病データベース構築委員会を平成23年8月13日、平成24年3月2日に、研究調整委員会を平成23年5月21日、10月14日、平成24年3月2日、3月4日に開催した。定期的な打ち合わせ会議は、月2回の頻度でJDCP Study 研究委託業者と継続して開催している。JDCP Study News Letter 8号、9号を発行し、参加施設に送付した。
- 2) 平成23年度の研究重点項目は、①本登録数の確定とデータクリーニング100%の達成、②地域別研究リーダーの支援による回収率90%以上の達成のためのアプローチの検討、③各ワーキンググループの活動の推進、④データの取り扱い・論文化とした。
- 3) 平成24年2月29日現在の本登録数は6,439名、1年後の追跡終了5,604名(87.0%)、2年後の追跡終了4,624名(71.8%)、3年後の追跡終了3,443名(58.7%)に達した。特に、3年後の追跡率の向上が大きい。データクリーニングは、2年後の追跡終了症例、口腔検査報告書、IPAQ データについて終了した。
- 4) 各ワーキンググループに連絡し、イベント発生の判定および解析に向けた作業を開始した。平成24年3月31日をもって、日本糖尿病学会とシミック社との契約提携は終了した。平成24年4月1日からは、公募により決定した(株)フレキシブル(石原吉浩代表)に研究業務の一部を委託することになった。

XVIII. 各種委員会

1. 糖尿病治療ガイド編集委員会

委員長 荒木栄一

委員会開催3回：平成23年9月25日(於：東京)、
平成23年12月23日(於：東京)、
平成24年3月2日(於：盛岡)

1) 委員と委員長の交替について：

岩本安彦先生、柏木厚典先生、田嶋尚子先生、南條輝志男先生に替わり、稲垣暢也先生、谷澤幸生先生、中村二郎先生、綿田裕孝先生が委員に就任した。これに伴い委員長も交代した。

2) 「糖尿病治療ガイド2010」の発行部数と売上状

況：

平成22年8月に発行した「糖尿病治療ガイド2010」の本年度(平成23年4月～平成24年3月末)の発行部数は1万部、売上部数は18,793部。累計発行部数は15万部、本年度末現在の累計売上部数は140,265部である。

3) 「糖尿病治療ガイド2010」の改訂について：

特に(1) HbA1cの国際標準化への対応、(2) 本学会の他の出版物および他の学会のガイドラインとの整合性、(3) 新たに登場した治療薬への対応、などに重点を置いて見直しを図った。

(1) に関して、本年4月1日からHbA1cの表記法が変更されることとなったのを受けて、本書の記述を新しい表記法に全面改訂するとともに、4月中に「糖尿病治療ガイド2012-2013」を発行することとした。(2) に関しては、高血圧の治療方針や、脂質異常症の管理に関するnon-HDL コレステロールの導入、などの改訂を行った。(3) に関しては、「糖尿病治療ガイド2010」発行以降に上市された薬剤を含め、できる限り最新の薬剤情報を取り入れた。

これらに加えて、「東日本大震災から見た災害時の糖尿病医療体制構築のための調査研究委員会」の佐藤讓委員長のご協力を得て、災害への備えと災害時の対応についての項目を追加したほか、本学会の学術評議員の先生方や日本医師会、日本歯科医師会からのご意見を基に必要な修正を加えた。

2. インターネット委員会 委員長 田嶋尚子

1) 平成23年度インターネット委員会を平成23年5月20日(札幌)および平成24年3月2日(盛岡)開催した。

2) 日本糖尿病学会ホームページのリニューアルについて検討し、以下について合意した。

①現在用いているCMSシステムは旧式で、使いやすさの面で限界があることのみならず、保守機能に問題が生じている。また、日本糖尿病学会の法人化にあたり大幅な内容の変更があるので、タイミング好都合である。さらに、バージョンアップが可能になるため、会員にとって見やすい画面を提供できる。以上から、最新の保守が確保できるPHP5に変更する。

②トップページのデザインやレイアウトなども刷新する方向で検討中である。リニューアルにあたりアクセスログの解析を行ったところ、アクセス回数が多かったのは、専門医検索、科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン、学術集会・イベント、専門医認定制度、お知らせ、糖尿病学会について、の順であった(平成22年9月～平成23年8月)。バナー広告掲載を希望する企業が増えてきているため、掲載の基準につ

いては他学会のホームページを参考にし、継続審議とする。

③日本糖尿病学会学会員の名簿は「オンライン名簿」に変更する方向であるが、その方式について検討を開始した。

④支部ホームページも同時に刷新する。

⑤英文ホームページの刷新を図るため、業者の変更も視野に入れて委託業者を公募する。

3) 各支部のホームページの更新業務は支部委員が行ってきたが、その業務負担が大きいこと、予算に余裕があるため、今後は本部が一括して杏林舎に作業を依頼することとした。

4) 学会誌「糖尿病」のオンラインジャーナルは、平成 24 年 4 月現在、55 巻 3 号までが掲載されている。また、第 47 巻(平成 16 年)以前の冊子はアーカイブで一般公開されている。

5) 平成 20 年以来 3 年間にわたり、日本医療情報学会との合同シンポジウムが開催されて、インターネット委員会委員が中心となって活動してきた。平成 23 年度からは両学会による合同常置委員会を設置することになり、準備のため古賀龍彦委員が選出された。合同常置委員会は「糖尿病の情報化に関する合同委員会(田嶋尚子委員長:日本糖尿病学会, 中島直樹副委員長:日本医療情報学会)」と命名され、委員会を 2 回(平成 23 年 8 月、平成 24 年 1 月)開催し、糖尿病診療のためのミニマム項目の策定、内閣官房「どこでも MY 病院糖尿病手帳作業部会」等で活動した。

3. 糖尿病性腎症合同委員会 世話人 羽田勝計
平成 23 年度には 2 回の委員会(第 33 回:6 月 18 日、横浜グランドインターコンチネンタルホテル、第 34 回:12 月 4 日、ベルサーレ神田)を開催し、下記議論を行った。

- 1)新しい CKD 重症度分類について
- 2)糖尿病性腎症の食事療法の基準について
- 3)糖尿病対策推進会議ワーキンググループ:「尿アルブミン測定の実態」に関する調査についてなど。

尚、「新しい CKD 重症度分類」に関しては、日本腎臓学会側と意見の集約が必要と考え、平成 24 年 1 月 24 日に臨時合同委員会を行った。その結果、糖尿病は他の疾患とは別項にして頂くことで、意見の一致をみた(添付)。

また、第 34 回委員会の席上、日本透析医学会委員より、「透析患者の糖尿病治療ガイドライン」の目次のみが突然提示された。本来この様な件を議論するため、日本透析医学会から委員が派遣されていることより、日本透析医学会秋澤理事長に文書で抗議し、内容をお

送り頂いた。本ガイドラインに関しては、理事、監事、幹事、糖尿病性腎症合同委員会委員、「糖尿病治療ガイドライン」編集委員、「科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン」委員会の該当箇所の委員、「糖尿病専門医研修ガイドブック」編集委員、からコメントを求め、日本腎臓学会のコメントと共に、4 月 9 日日本透析医学会に送付し、大幅な訂正を求めている。

4. 移植関係学会合同委員会・臓器移植中央調整委員会・臓器移植関連学会 協議会報告

1)移植関係学会合同委員会・臓器移植中央調整委員会 委員長 谷口 洋

①第 30 回移植関係学会合同委員会が平成 23 年 9 月 6 日に開催され、i. 臓器の移植に関する法律改正後の状況として、(イ)平成 23 年 4 月に小児から臓器提供が行われたこと、(ロ)家族の同意による提供が可能となったため全体の臓器提供件数が増加していると考えられる旨厚生労働省から報告された。ii. 腎臓移植の適応が「確実に進行性慢性腎臓病で 1 年以内に腎代替療法導入の見込まれる(急激な悪化が予測される急速進行性腎炎などを除く)透析導入前の腎不全患者」にも拡大されることが承認された。iii. 脳死肝臓移植実施施設として岩手医科大学附属病院、脳死小腸移植実施施設として旭川医科大学病院、自治医科大学附属病院、国立成育医療研究センター、熊本大学医学部附属病院、心肺同時移植実施施設として東北大学病院がそれぞれ新たに承認された。iv. 心臓レシピエント適応基準を「65 歳未満が望ましい」へ変更する改訂が承認された。

②平成 23 年度臓器移植中央調整委員会が平成 23 年 10 月 4 日並びに平成 24 年 3 月 9 日に開催され、i. 平成 24 年 2 月 29 日現在の臓器移植希望者申請書類受付は 484 件(うち腎臓同時移植は 414 件、腎単独移植は 70 件)、ネットワーク登録済みは 388 件(うち 125 件死体移植済み、5 件生体移植、35 件待機中死亡、26 件取り消し)、登録中は 197 件(うち腎臓同時移植は 152 件、腎単独移植は 45 件)であることが報告され、ii. 臓器移植実施施設認定委員会を立ち上げ施設認定に関する検討をすること、iii. 臓器移植実務者委員会を日本臓器移植研究会の中を含めた形で行うことが承認された。

③「亡くなられた方からの臓器移植のレシピエント適応評価委員会の位置づけについての意見交換会」が平成 23 年 12 月 4 日に開催され、各臓器の委員会における i. 事務的仕事量の指数関数的増加、ii. 経済的裏付けの欠如、iii. 訴訟に対する支援体制の欠如が共通の問題点として認識され、厚生労働省に伝達し、要望を述べることにした。

2) 第16回臓器移植関連学会協議会

世話人 岩本安彦

第16回臓器移植関連学会協議会は、平成23年9月10日、東京ステーションコンファレンスに日本移植学会理事長、日本救急医療財団理事長、日本臓器移植ネットワーク専務理事、厚労省臓器移植対策室長、厚生科学審議会専門委員会委員をはじめ、関連学会代表約40名が参加して行われた。

「改正法1年を迎えて」を主要テーマに、日本における心、肺、肝、腎、脾、小腸の各臓器移植の実施の現状が発表された。脾移植に関しては剣持敬先生（千葉東病院）から、日本におけるこれまでの脾移植の実績と、改正後の移植症例数の増加について報告された。討論では、「改正法下における臓器提供の現状と問題点」「臓器提供・移植における麻酔科医の役割と問題点」「改正法下における移植臓器のあっせん」についての報告をもとに活発な論議が行われた。

5. 糖尿病学用語集編集委員会 委員長 石塚達夫

委員会は平成23年2月6日（日）から開催されていない。

平成23年4月ようやく第3版発行に至った。2007年5月から引き継ぎ、用語集改訂に9名の委員とともに、3年11ヶ月を経て発行した。古くなった用語や糖尿病学に直接関連しない用語は削除し、英和編7,019語、和英編6,929語、略語編975語、解説を付した用語809語ですべて増加した。今後とも利用者各位からご意見を伺う為に、アンケート作業からの開始となる。

6. 専門医取得のための研修ガイドブック作成委員会

委員長 中村二郎

「改訂第5版」の刊行（2012年5月11日予定）に向けて、最終校正の段階に入っている。また、糖尿病専門医研修カリキュラム改訂版の完成を待って、「改訂第6版」(全面改訂)の2013年5月刊行を目指して作業を進める予定である。

7. 学術調査研究等倫理審査委員会

委員長 谷澤幸生

アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究委員会、中村二郎委員長より「アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究」について、東日本大震災調査研究委員会の佐藤譲委員長より「東日本大震災から見た災害時の糖尿病医療体制構築のための調査研究」についてそれぞれ審査の依頼があった。また、1型糖尿病調査研究委員会の共同委員長、花房俊昭委員長・小林哲郎委員長より、すでに当委員会の承認を受けて実施中である「1型糖尿病関連遺伝子群の

多施設共同研究」について内容の一部変更（研究期間の延長）について審査依頼があった。

それぞれについて倫理委員会で持ち回り審議を行った結果、2つの新規研究計画、ならびにひとつの研究計画について内容の一部変更を承認した。

8. 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン策定委員会 委員長 羽田勝計

「科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2010」に続き、同2013を発刊すべく準備を行った。委員（執筆者）および査読者の約半数に交代して頂き、平成23年10月16日（日）に、第1回委員会を開催した。今回は、主に2011年12月までのエビデンスを中心に、それ以降のエビデンスは査読中に加えることとし、2013年5月の年次学術集会を発行の目標とすることとした。また、査読の統一化を図るため、査読委員会を平成24年3月4日（日）に開催した。さらに、本ガイドラインのホームページへの掲載を検討している。

尚、英語版の発行に関しては、田嶋理事を中心に検討いただくこととなった。

9. 将来計画委員会 委員長 羽田勝計

第9回将来計画委員会を、平成23年10月21日、ヒルトン東京ベイにて開催し、「日本糖尿病学会アクションプラン2010（DREAMS）」実現に向けた議論を行った。その結果、下記を理事会に提案することとした。尚、第10回委員会は平成24年4月19日に開催した。

・優秀論文賞を設ける（Research to Cure：研究推進と人材育成）

10. パブリックリレーションズ委員会

委員長 加来浩平

委員：渥美義仁、植木浩二郎、小田原雅人、春日雅人、河盛隆造、田嶋尚子、寺内康夫、戸辺一之、濱野久美子、松田昌文、吉岡成人（50音順）

パブリックリレーションズ委員会は、今年度の委員会開催はありません。

11. 利益相反委員会 委員長 加来浩平

委員：岩本安彦、岩崎直子、梅田文夫、小泉順二、寺内康夫、前川聡、山根公則、山田雅康（顧問弁護士）(50音順)

日本内科学会による利益相反に関する共通指針の改訂に伴い、平成24年4月8日に委員会を開催し、一般社団法人日本糖尿病学会「利益相反（COI）に関する指針」(Policy of Conflict of Interest in Japan Diabetes So-

ciety) および同指針の細則の見直しを行い、一部修正を加えた。英文誌「Diabetology International」編集委員会により策定された、同誌投稿者の利益相反自己申告書 (COI Self-Report Form) を承認した。また、同誌投稿者向けに、「利益相反 (COI) に関する指針」および同指針の細則の改訂版について、英語翻訳版を作成することとした。

12. 定款・細則検討委員会 委員長 加来浩平
委員：河盛隆造, 羽田勝計, 富永真琴, 岩本安彦,
寺内康夫, 中村二郎, 井口登与志

事務局：山田雅康弁護士, 久保まゆみ会計士, 植木
浩二郎事務局長

定款・細則検討委員会は、今年度の委員会開催はありません。

なお、第 54 回総会後に、内閣府公益認定等委員会事務局より、新定款の文言について一部修正が必要な旨の指摘があり、その後の理事会において協議を重ね、平成 24 年 4 月 1 日付けでの一般社団法人への移行完了後、新定款第 6 条 2 項ほか 8 件、新細則第 41 条について修正を行うこととした。

3. 「糖尿病学の進歩」開催について

第 48 回「糖尿病学の進歩」

会 期 平成 26 年 3 月 7 日 (金)・8 日 (土) (予定)

会 場 札幌コンベンションセンター (予定)

世話人 吉岡成人 (NTT 東日本札幌病院 糖尿病内分泌内科)

※ 第 49 回「糖尿病学の進歩」の開催支部が中国・四国支部に決定した。

4. 平成 23 年度収支決算に関する件 (羽田理事)

定時社員総会で審議の上、23 年度収支決算書が承認可決された。(本号 p531～p556)。

5. 平成 25 年度事業計画および収支予算に関する件 (加来理事・羽田理事)

定時社員総会で審議の上、平成 25 年度事業計画および収支予算が承認可決された。(本号 p557～p576)。

6. 名誉会員の推薦に関する件

理事会が推薦した河盛隆造会員、牧野英一会員の 2 名が定時社員総会において承認された。

7. 学術評議員 (理事会推薦) の承認に関する件

旧細則第 16 条において規定されていた、理事会が推薦する学術評議員候補者については、本年 4 月 1 日より一般社団法人に移行したことに伴い新定款が適用さ

れ、定款第 39 条第 2 項に従い、学術評議員は選挙によって選出することとなったため、今回から理事会推薦の学術評議員候補者は制度そのものがなくなった。

8. 次々会長 (第 58 回学術集会) の選任に関する件

学術評議員会にて投票により第 58 回会長に谷澤幸生会員が選出され、定時社員総会において承認された。

9. 第 56 回年次学術集会に関する件

平成 25 年 5 月 16・17・18 日の 3 日間、ホテル日航熊本、熊本市市民会館、熊本県民交流会館パレア、熊本ホテルキャッスルほか (熊本市) において開催の予定である。

10. 理事および監事の承認に関する件

各支部および理事会から推薦された 18 名の理事候補者と学術評議員会から推薦された 2 名の監事候補者の就任が承認された。

1. 理 事

北海道支部	羽田 勝計	旭川医科大学内科学講座 (病態代謝内科学分野)
東北	佐藤 譲	岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病代謝内科分野
関東甲信越	渥美 義仁	東京都済生会中央病院糖尿病臨床研究センター
	植木浩二郎	東京大学大学院医学系研究科代謝栄養病態学 (糖尿病・代謝内科)
	宇都宮一典	東京慈恵会医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科
	春日 雅人 門脇 孝	国立国際医療研究センター 東京大学大学院医学系研究科代謝栄養病態学 (糖尿病・代謝内科)
中部	古家 大祐	金沢医科大学糖尿病・内分泌内科学
	中村 二郎	愛知医科大学医学部内科学講座糖尿病内科
近畿	稲垣 暢也	京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学
	清野 進	神戸大学大学院医学研究科内科学講座糖尿病・内分泌内科学
	難波 光義	兵庫医科大学内科学・糖尿病科
	横野 浩一	神戸大学大学院医学研究科老年内科学
中国・四国	加来 浩平	川崎医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科学講座
	谷澤 幸生	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学分野

九州	荒木 栄一	熊本大学大学院生命科学研究部総合医薬科学部門 生体機能病態学講座代謝内科学分野
	井口登興志	九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点
理事会推薦	清野 裕	関西電力病院

以上 18 名

2. 監 事

山田祐一郎	秋田大学大学院医学系研究科内分泌・代謝・老年医学
綿田 裕孝	順天堂大学大学院代謝内分泌内科学

以上 2 名

11. インターネット委員会委員および「Diabetology International」編集委員会委員の交代に関する件

任期満了に伴い各委員会の委員が交代することとなった。また、委員の支部移動により「Diabetology International」編集委員会委員 1 名が交代することとなった。

1. インターネット委員会（2012 年度～2015 年度）

北海道支部	柳沢 克之 近藤 琢磨	市立札幌病院糖尿病代謝内科 北海道大学医学部第二内科
東北	田村 明 金子 慶三	太田西ノ内病院糖尿病科 東北大学医学部分子代謝病態学分野
関東甲信越	目黒 周 横田 太持	慶應義塾大学医学部腎内分泌代謝内科 東京慈恵会医科大学内科学講座
中部	住田 安弘 中島英太郎	三重大学保健管理センター 中部労災病院代謝内分泌内科
近畿	濱崎 暁洋 河盛 段	京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学 大阪大学医学部内分泌・代謝内科学
中国・四国	谷澤 幸生 蛭川 英典	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学 川崎医科大学附属病院糖尿病内分泌内科
九州	三村 和郎 古賀 龍彦	福岡市医師会成人病センター 原土井病院内科

※今回改選の委員のみ掲載

2. 「Diabetology International」編集委員会（2012 年度～2015 年度）

北海道支部	安孫子亜津子	旭川医科大学内科学講座病態代謝内科学分野
東北	大門 真	山形大学医学部第三内科
関東甲信越	宇都宮一典	東京慈恵会医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科
	春日 雅人	国立国際医療研究センター研究所
	島田 朗	東京都済生会中央病院内科
中部	戸邊 一之	富山大学医学部第一内科
近畿	若崎 久生	和歌山県立医科大学附属病院第一内科
	宇津 貴	滋賀医科大学内科学講座
中国・四国	松久 宗英	徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター
九州	中島 直樹	九州大学医学部附属病院医療情報部

※今回改選の委員のみ掲載

3. 委員の交代

	新任	退任
「Diabetology International」編集委員会	原田範雄	藤本新平

※藤本委員の支部移動に伴う交代。

12. 「糖尿病学の進歩」プログラム委員会について

細則第 48 条④により、下記の様に決定された。

「糖尿病学の進歩」プログラム委員会

第 46 回「糖尿病学の進歩」世話人 佐藤 譲

第 47 回「糖尿病学の進歩」世話人 吉岡 成人

第 55 回会長 渥美 義仁

第 56 回会長 荒木 栄一

学術調査研究・教育担当常務理事 春日 雅人

13. 学会後援について

申し込みのあった 7 件を後援することとした。

- 第 29 回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー
平成 24 年 8 月 25 日～26 日
- 第 5 回 JSDEI セミナー「糖尿病—栄養と口腔保健の推進セミナー」
平成 24 年 4 月 22 日
- 第 12 回日本先進糖尿病治療研究会
平成 24 年 12 月 1 日
- 2012 年度全腎協全国大会 in おかやま
平成 24 年 5 月 20 日
- HbA1c 認知向上運動 2012
○メディアフォーラム 平成 24 年 4 月 6 日
○東京会場イベント 平成 24 年 6 月 2 日

○徳島会場イベント 平成 24 年 7 月 8 日

6. 第 24 回分子糖尿病学シンポジウム

平成 24 年 12 月 8 日

7. 「メタボリックシンドローム撲滅運動キャンペーン」 平成 24 年 5 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

以上 文責 庶務担当常務理事 加来浩平

会 報

1. 財 産 目 録

平成24年3月31日 現 在

(単位:円)

科 目		金 額		
資 産	1. 資 産 の 部			
	1. 流 動 資 産			
	1) 現 金	4,225,325		
	2) 普 通 預 金			
	三井住友銀行 白山支店	2,648,298		
	みずほ銀行 本郷支店	15,737,054		
	みずほ銀行 本郷支店	961		
	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	21,084,876		
	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	1,730,451		
	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	50		
	三菱東京UFJ銀行 春日町支店	2,798,634		
	三菱東京UFJ銀行 春日町支店	377,599		
	三井住友信託銀行 本店営業部	2,829,718		
	北陸銀行 東京支店	3,272,585		
	本郷郵便局	10,484,031	60,964,257	
	3) 振 替 貯 金			
	ゆうちょ銀行	17,064,959		
	ゆうちょ銀行	18,542,910	35,607,869	
	4) 定 額 預 金			
	本郷郵便局		4,669,910	
	5) 積 立 預 金			
	(1) 坂 口 賞	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	7,441,225	
		本郷郵便局	10,000,000	
	(2) 学 会 賞	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	1,954,279	
	(3) 学 術 調 査 研 究	三井住友銀行 白山支店	35,153,826	
		三井住友信託銀行 本店営業部	33,090,000	
		本郷郵便局	15,061,484	
	(4) 国 際 情 報 交 流 基 金	三井住友信託銀行 本店営業部	25,000,000	
		本郷郵便局	5,330,090	
	(5) O A 機 器	三井住友信託銀行 本店営業部	16,620,000	
	(6) 事 務 所 移 転 ・ 営 繕	三井住友信託銀行 本店営業部	34,180,000	
	(7) 国 際 会 議 誘 致 準 備	三井住友信託銀行 本店営業部	28,100,000	
	(8) 災害時の糖尿病診療調査研究事業	三井住友信託銀行 本店営業部	44,010,000	
		三井住友銀行 白山支店	5,990,000	
	(9) 支 部 運 営 積 立 資 産	89,068,666	350,999,570	
	1)～5) 現金・預金合計		456,466,931	
	7) 未 収 入 金			
	広 告 料 3社		5,165,680	
	印 税 3社		8,203,994	
	会 誌 17件		118,080	
	会 費 一般 771名		9,550,000	
	賛助 9件		1,800,000	
	未 収 入 金 合 計		24,837,754	
	8) 立 替 金			
	別刷製作費用2名分		86,671	
	第55回年次学術集会		9,000,000	
	第56回年次学術集会		9,000,000	
	立 替 金 合 計		18,086,671	
	9) 前払費用			
	平成24年度総会費用		4,216,905	
	平成24年度IDF会費		886,376	
	移転費用		2,245,705	
	前 払 費 用 合 計		7,348,986	
	流 動 資 産 合 計			506,740,342
の 部	2. 固 定 資 産			
	(1) 基 本 財 産			
	定 期 預 金	三井住友信託銀行 本店営業部	50,000,000	
	基本財産合計		50,000,000	
	(2) 特 定 資 産			
	退 職 給 付 引 当 資 産	三井住友信託銀行 本店営業部	8,775,665	
		三井住友銀行 白山支店	706,744	
	特定資産合計		9,482,409	
	(3) その他固定資産			
	1) 建 物 附 属 設 備	間仕切	5	
	2) 器 具 備 品	冷蔵庫 他 8点	182,545	
	3) 電 話 加 入 権	(03)3815-4364	115,100	
	その他固定資産合計		297,650	
	固 定 資 産 合 計			59,780,059
	資 産 合 計			566,520,401

科 目		金 額		
負 の 部	Ⅱ. 負債の部			
	1. 流動負債			
	1) 前受金			
	会費 2,753名	30,760,000		
	会誌 119件	2,428,800		
	専門医認定審査料 2名	20,000		
	専門医更新審査料 33名	660,000		
	前受金合計	33,868,800		
	2) 預り金			
	社員負担 健保・厚生年金他	1,143,884		
	預り金合計	1,143,884		
	3) 未払金			
	地方会 税金等	30,862,886		
	未払金合計	30,862,886		
	流動負債合計		65,875,570	
部	2. 固定負債			
	退職給付引当金	9,482,409		
	固定負債合計		9,482,409	
	負債合計			75,357,979
正味財産				491,162,422

2. 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物付属設備及び器具備品・・・定率法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	0		50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	43,763,938	1,450,535	35,732,064	9,482,409
坂口賞積立資産	17,436,294	4,059	17,440,353	0
学会賞積立資産	1,952,940	570	1,953,510	0
名簿積立資産	11,000,000	0	11,000,000	0
学術調査研究積立資産	83,305,310	0	83,305,310	0
国際情報交流基金資産	30,330,090	0	30,330,090	0
OA機器積立資産	16,620,000	0	16,620,000	0
事務所移転・営繕積立資産	34,180,000	0	34,180,000	0
国際会議誘致準備積立資産	28,100,000	0	28,100,000	0
支部運営積立資産	76,733,607	0	76,733,607	0
小 計	343,422,179	1,455,164	335,394,934	9,482,409
合 計	393,422,179	1,455,164	335,394,934	59,482,409

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
小 計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	9,482,409	(0)	(9,482,409)	(9,482,409)
坂口賞積立資産	0	(0)	(0)	—
学会賞積立資産	0	(0)	(0)	—
名簿積立資産	0	(0)	(0)	—
学術調査研究積立資産	0	(0)	(0)	—
国際情報交流基金資産	0	(0)	(0)	—
OA機器積立資産	0	(0)	(0)	—
事務所移転・営繕積立資産	0	(0)	(0)	—
国際会議誘致準備積立資産	0	(0)	(0)	—
支部運営積立資産	0	(0)	(0)	—
小 計	9,482,409	(0)	(9,482,409)	(9,482,409)
合 計	59,482,409	(50,000,000)	(9,482,409)	(9,482,409)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	1,000,000	999,995	5
器具備品	4,432,555	4,250,010	182,545
合 計	5,432,555	5,250,005	182,550

3. 貸借対照表総括表

平成24年3月31日 現在

科		目	一般会計	専門医 特別会計	学術集会 特別会計	糖尿病学の進歩 特別会計	支部 特別会計	地方会 特別会計	支部認定委員会 特別会計	内部取引消去	合計
(単位:円)											
I. 資産の部											
1. 流動資産											
	現金	預入金	346,111,676	21,286,589			86,967,239		2,101,427		456,466,931
	未収金	替金	24,837,754								24,837,754
	立替金	前払費用	18,086,671								18,086,671
			7,348,986								7,348,986
流動資産合計			396,385,087	21,286,589	0	0	86,967,239	0	2,101,427	0	506,740,342
2. 固定資産											
(1) 基本財産											
	定期	預金	50,000,000								50,000,000
基本財産合計			50,000,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000,000
(2) 特定資産											
	退職給付引当	資産	9,482,409								9,482,409
	坂口会賞		0								0
	学会賞		0								0
	学術調査研究		0								0
	国際情報交流基金		0								0
	O A 機器		0								0
	事務所移転・営繕		0								0
	国際会議誘致準備		0								0
特定資産合計			9,482,409	0	0	0	0	0	0	0	9,482,409
(3) その他の固定資産											
	建物附属設備		5								5
	器具備品		182,545								182,545
	電話加入権		115,100								115,100
	その他の固定資産合計		297,650	0	0	0	0	0	0	0	297,650
固定資産合計			59,780,059	0	0	0	0	0	0	0	59,780,059
資産合計			456,165,146	21,286,589	0	0	86,967,239	0	2,101,427	0	566,520,401
II. 負債の部											
1. 流動負債											
	前受金		33,188,800	680,000							33,868,800
	預り金		1,143,884								1,143,884
	未払金		30,862,886								30,862,886
流動負債合計			65,195,570	680,000	0	0	0	0	0	0	65,875,570
2. 固定負債											
	退職給付引当金		9,482,409								9,482,409
固定負債合計			9,482,409	0							9,482,409
負債合計			74,677,979	680,000	0	0	0	0	0	0	75,357,979
III. 正味財産の部											
1. 指定正味財産											
	(うち基本財産への充当額)		50,000,000								50,000,000
			(50,000,000)								(50,000,000)
2. 一般正味財産			331,487,167	20,606,589			86,967,239		2,101,427	0	441,162,422
	(うち特定資産への充当額)		(9,482,409)	(0)			(0)		(0)		(9,482,409)
正味財産合計			381,487,167	20,606,589	0	0	86,967,239	0	2,101,427	0	491,162,422
負債及び正味財産合計			456,165,146	21,286,589	0	0	86,967,239	0	2,101,427	0	566,520,401

会 報

3. 貸 借 対 照 表 (一般会計)

平成24年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	346,111,676	117,181,681	228,929,995
未 収 入 金	24,837,754	35,291,142	△ 10,453,388
立 替 金	18,086,671	27,663,761	△ 9,577,090
前 払 費 用	7,348,986	3,503,317	3,845,669
流 動 資 産 合 計	396,385,087	183,639,901	212,745,186
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	50,000,000	50,000,000	0
基 本 財 産 合 計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	9,482,409	43,763,938	△ 34,281,529
坂 口 賞 積 立 資 産	0	17,436,294	△ 17,436,294
学 会 賞 積 立 資 産	0	1,952,940	△ 1,952,940
名 簿 積 立 資 産	0	11,000,000	△ 11,000,000
学 術 調 査 研 究 積 立 資 産	0	83,305,310	△ 83,305,310
国 際 情 報 交 流 基 金 資 産	0	30,330,090	△ 30,330,090
OA 機 器 積 立 資 産	0	16,620,000	△ 16,620,000
事 務 所 移 転・営 繕 積 立 資 産	0	34,180,000	△ 34,180,000
国 際 会 議 誘 致 準 備 積 立 資 産	0	28,100,000	△ 28,100,000
特 定 資 産 合 計	9,482,409	266,688,572	△ 257,206,163
(3) そ の 他 の 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	5	10,004	△ 9,999
器 具 備 品	182,545	230,140	△ 47,595
電 話 加 入 権	115,100	115,100	0
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	297,650	355,244	△ 57,594
固 定 資 産 合 計	59,780,059	317,043,816	△ 257,263,757
資 産 合 計	456,165,146	500,683,717	△ 44,518,571
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
前 受 金	33,188,800	18,342,800	14,846,000
預 り 金	1,143,884	1,127,627	16,257
未 払 金	30,862,886	50,616,936	△ 19,754,050
流 動 負 債 合 計	65,195,570	70,087,363	△ 4,891,793
2. 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	9,482,409	43,763,938	△ 34,281,529
固 定 負 債 合 計	9,482,409	43,763,938	△ 34,281,529
負 債 合 計	74,677,979	113,851,301	△ 39,173,322
III. 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
定 期 預 金	50,000,000	50,000,000	0
指 定 正 味 財 産	50,000,000	50,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
2. 一 般 正 味 財 産			
(うち特定財産への充当額)	(331,487,167)	(336,832,416)	(△ 5,345,249)
正 味 財 産 合 計	381,487,167	386,832,416	△ 5,345,249
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	456,165,146	500,683,717	△ 44,518,571

3. 貸 借 対 照 表 (専門医特別会計)

平成24年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金 合 計	21,286,589	27,952,428	△ 6,665,839
2. 固 定 資 産			
資 産 合 計	21,286,589	27,952,428	△ 6,665,839
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
前 受 金 合 計	680,000	110,000	570,000
III. 正味財産の部			
1. 指 定 正 味 財 産			
指 定 正 味 財 産 (うち基本財産への充当額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2. 一 般 正 味 財 産	20,606,589	27,842,428	△ 7,235,839
正 味 財 産 合 計	20,606,589	27,842,428	△ 7,235,839
負債及び正味財産合計	21,286,589	27,952,428	△ 6,665,839

3. 貸 借 対 照 表 (支部特別会計)

平成24年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金 合 計	86,967,239	0	86,967,239
2. 固 定 資 産			
(2) 特 定 資 産			
支 部 運 営 積 立 資 産 合 計	0	74,630,563	△ 74,630,563
資 産 合 計	86,967,239	74,630,563	12,336,676
II. 負 債 の 部			
負 債 合 計	0	0	0
III. 正味財産の部			
1. 指 定 正 味 財 産			
指 定 正 味 財 産 (うち基本財産への充当額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2. 一 般 正 味 財 産	86,967,239	74,630,563	12,336,676
正 味 財 産 合 計	86,967,239	74,630,563	12,336,676
負債及び正味財産合計	86,967,239	74,630,563	12,336,676

3. 貸 借 対 照 表 (支部認定委員会特別会計)

平成24年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金 合 計	2,101,427	0	2,101,427
2. 固 定 資 産			
(2) 特 定 資 産			
支 部 運 営 積 立 資 産 合 計	0	2,103,044	△ 2,103,044
資 産 合 計	2,101,427	2,103,044	△ 1,617
II. 負 債 の 部			
負 債 合 計	0	0	0
III. 正味財産の部			
1. 指 定 正 味 財 産			
指 定 正 味 財 産 (うち基本財産への充当額)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2. 一 般 正 味 財 産	2,101,427	2,103,044	△ 1,617
正 味 財 産 合 計	2,101,427	2,103,044	△ 1,617
負債及び正味財産合計	2,101,427	2,103,044	△ 1,617

会 報

4. 収 支 計 算 書 総 括 表

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

科 目		一般会計	専門医 特別会計	学術集会 特別会計	糖尿病学の進歩 特別会計	支部 特別会計	地方会 特別会計	支部認定委員会 特別会計	内部取引消去	合計
(単位:円)										
Ⅰ. 事業活動収支の部										
1. 事業活動収入										
基本財産運用収入		611,675								611,675
会費収入		173,980,000								173,980,000
正会員会費収入		164,580,000								164,580,000
賛助会員会費収入		9,400,000								9,400,000
事業収入		59,992,102	26,710,000	332,661,334	87,079,589	452,018	126,965,803	419		633,861,265
出版事業収入		59,992,102								59,992,102
専門医認定審査料収入			3,110,000							3,110,000
専門医認定料収入			5,300,000							5,300,000
専門医更新審査料収入			12,400,000							12,400,000
専門医受験料収入			5,900,000							5,900,000
参加費収入				100,106,400	27,686,000		46,332,500			174,124,900
展示会出展料収入				83,691,300	29,263,500		15,753,866			128,708,666
各種セミナー共催費収入				104,737,500	24,465,000		46,534,600			175,737,100
広告掲載料収入				17,713,500	4,284,485		7,793,000			29,790,985
寄付金・助成金収入				25,480,000	1,379,000		8,188,000	419		35,047,419
その他の収入				932,634	1,604	452,018	2,363,837			3,750,093
寄附金収入		2,100,000								2,100,000
寄附金収入		2,100,000								2,100,000
雑収入		33,681,523								33,681,523
受取利息収入		811,887								811,887
雑収入		32,869,636								32,869,636
他会計からの繰入金収入		77,580,743		14,000,000	4,000,000	22,835,596	5,049,000	981,254	△ 124,446,593	0
学術集会会計からの繰入金収入		67,469,465								67,469,465
進歩会計からの繰入金収入		10,111,278								10,111,278
本部会計からの繰入金収入				14,000,000	4,000,000	11,894,500				29,894,500
地方会計からの繰入金収入						10,941,096				10,941,096
支部会計からの繰入金収入							5,049,000			5,049,000
専門医特別会計からの繰入金収入								981,254		981,254
事業活動収入計		347,946,043	26,710,000	346,661,334	91,079,589	23,287,614	132,014,803	981,673	△ 124,446,593	844,234,463
2. 事業活動支出										
事業費支出		209,905,703	32,964,585	279,191,869	80,968,311	5,903,705	121,073,707	981,523		730,989,403
旅費交通費支出		21,289,310	13,369,525			825,840	2,953,432	710,540		39,148,647
通信運搬費支出		24,973,958	1,916,177	429,460	301,120	605,895	2,719,774	77,216		31,023,600
事務費支出		476,501								476,501
調査費支出		35,598,310								35,598,310
印刷製本費支出		92,346,899	711,214	11,969,805		127,236	17,163,110	0		122,318,264
会議費支出		11,478,901	2,719,169	1,530,984		867,032		179,670		16,775,756
消耗品費支出		1,120,182								1,120,182
ホームページ管理費支出		2,247,525								2,247,525
雑費支出		1,575	882,287			292,048	8,669,509			9,845,419
租税公課支出		412,809					549,162			961,972
国際学会費支出		848,442								848,442
国際糖尿病学会開催費支出		2,500,000								2,500,000
「A A S D」支出		4,000,000								4,000,000
I D F / W P R 支出		10,000,000								10,000,000
学術研究助成支出		2,500,000								2,500,000
サマーキャンプ補助金支出						1,600,000				1,600,000
坂口賞支出		111,300								111,300
人件費支出			8,844,645		12,704,519	1,218,883	9,551,274			32,319,321
会費支出		3,543,133	42,375,231				23,739,963			69,658,327
消耗品費支出		978,435				66,454	2,254,090	0		3,298,979
事務局費支出			32,801,060			306,317	10,262,491	14,097		43,377,965
委託費支出			40,314,238				23,615,325			63,929,563
機材・看板関係費支出			52,494,653	14,893,785			19,595,577			86,984,015
要員関係費支出			11,861,290							11,861,290
展示会場設営費支出			6,900,000	2,901,150						9,801,150
消耗品・その他運営費支出			28,755,930							28,755,930
飲食・会合関係費支出			4,918,989							4,918,989
招待者旅費関係費支出			29,098,870							29,098,870
事後処理費支出			3,673,459	344,675						4,018,134

5. 収支計算書総括表に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用・前受金及び立替金・預り金未払金を含めることにしている。なお、当期末残高は2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	145,134,109	456,466,931
未 収 入 金	35,291,142	24,837,754
立 替 金	27,663,761	18,086,671
前 払 費 用	3,503,317	7,348,986
合 計	211,592,329	506,740,342
前 受 金	18,452,800	33,868,800
預 り 金	1,127,627	1,143,884
未 払 金	50,616,936	30,862,886
合 計	70,197,363	65,875,570
次期繰越収支差額	141,394,966	440,864,772

会 報

6. 収 支 計 算 書（一般会計）

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

科 目			予算額	決算額	差 異	備考
Ⅰ．事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
基本財産運用収入			(500,000)	(611,675)	(△ 111,675)	
	基本財産運用収入		500,000	611,675	△ 111,675	
会 費 収 入			(177,600,000)	(173,980,000)	(3,620,000)	
	正 会 員 会 費 収 入		169,000,000	164,580,000	4,420,000	
	賛 助 会 員 会 費 収 入		8,600,000	9,400,000	△ 800,000	
事 業 収 入			(80,000,000)	(59,992,102)	(20,007,898)	
	出 版 事 業 収 入		80,000,000	59,992,102	20,007,898	
寄 附 金 収 入			(2,000,000)	(2,100,000)	(△ 100,000)	
	寄 附 金 収 入		2,000,000	2,100,000	△ 100,000	
雑 収 入			(2,100,000)	(33,681,523)	(△ 31,581,523)	
	受 取 利 息 収 入		2,000,000	811,887	1,188,113	
	雑 収 入		100,000	32,869,636	△ 32,769,636	
他会計からの繰入金収入			(0)	(77,580,743)	(△ 77,580,743)	
	学術集会会計からの繰入金収入		0	67,469,465	△ 67,469,465	
	進歩会計からの繰入金収入		0	10,111,278	△ 10,111,278	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			262,200,000	347,946,043	△ 85,746,043	
2. 事業活動支出						
事業費支出			[269,580,000]	[209,905,703]	[59,674,297]	
調査研究費支出			(51,000,000)	(18,056,402)	(32,943,598)	
	旅 費 交 通 費 支 出		6,000,000	1,332,660	4,667,340	
	通 信 運 搬 費 支 出		200,000	28,340	171,660	
	事 務 費 支 出		200,000	81,401	118,599	
	調 査 費 支 出		40,000,000	15,175,112	24,824,888	
	印 刷 製 本 費 支 出		100,000	58,155	41,845	
	会 議 費 支 出		3,500,000	1,380,734	2,119,266	
	合 併 症 学 会 共 同 研 究 費		1,000,000	0	1,000,000	
糖尿病総合対策支出			(34,000,000)	(28,347,538)	(5,652,462)	
	通 信 費 支 出		500,000	282,720	217,280	
	印 刷 製 本 費 支 出		500,000	903,219	△ 403,219	
	会 議 費 支 出		7,000,000	3,147,989	3,852,011	
	旅 費 交 通 費 支 出		11,000,000	2,470,230	8,529,770	
	調 査 研 究 費 支 出		15,000,000	20,423,198	△ 5,423,198	
	消 耗 品 費 支 出		0	1,120,182	△ 1,120,182	
インターネット委員会支出			(4,000,000)	(2,585,985)	(1,414,015)	
	通 信 費 支 出		100,000	226,851	△ 126,851	
	印 刷 製 本 費 支 出		100,000	0	100,000	
	備 品 費 支 出		500,000	0	500,000	
	会 議 費 支 出		300,000	109,809	190,191	
	I T 関 係 整 備 費 支 出		500,000	0	500,000	
	ホ ー ム ペ ー ジ 管 理 費 支 出		2,000,000	2,247,525	△ 247,525	
	旅 費 交 通 費 支 出		500,000	1,800	498,200	
選挙管理委員会支出			(900,000)	(290,000)	(610,000)	
	旅 費 交 通 費 支 出		500,000	290,000	210,000	
	会 議 費 支 出		300,000	0	300,000	
	印 刷 製 本 費 支 出		50,000	0	50,000	
	事 務 費 支 出		50,000	0	50,000	
各種委員会支出			(9,200,000)	(6,656,284)	(2,543,716)	
	会 議 費 支 出		3,000,000	2,306,929	693,071	
	旅 費 交 通 費 支 出		6,000,000	4,345,070	1,654,930	
	通 信 費 支 出		100,000	2,710	97,290	
	雑 費 支 出		100,000	1,575	98,425	
出版事業支出			(142,300,000)	(130,279,327)	(12,020,673)	
「糖尿病」	旅 費 交 通 費 支 出		6,000,000	10,470,305	△ 4,470,305	
	通 信 運 搬 費 支 出		26,500,000	24,408,857	2,091,143	
	会 議 費 支 出		2,500,000	3,181,008	△ 681,008	
	事 務 費 支 出		500,000	122,310	377,690	
	印 刷 製 本 費 支 出		85,000,000	75,645,815	9,354,185	
	租 税 公 課 支 出		0	412,800	△ 412,800	
「英文誌」	旅 費 交 通 費 支 出		2,000,000	1,040	1,998,960	
	通 信 運 搬 費 支 出		100,000	20,880	79,120	
	会 議 費 支 出		600,000	265,157	334,843	
	事 務 費 支 出		3,600,000	11,445	3,588,555	
	印 刷 製 本 費 支 出		15,500,000	15,739,710	△ 239,710	

糖尿病 55巻7号 (2012)

科	目	予算額	決算額	差 異	摘 要
国際交流事業支出		(21,800,000)	(21,078,867)	(721,133)	
	旅 費 交 通 費 支 出	9,000,000	2,378,205	6,621,795	
	国 際 学 会 費 支 出	1,100,000	848,442	251,558	
	事 務 費 支 出	200,000	261,345	△ 61,345	
	会 議 費 支 出	300,000	1,087,275	△ 787,275	
	通 信 運 搬 費 支 出	200,000	3,600	196,400	
	「国際糖尿病デー」開催支出	5,000,000	2,500,000	2,500,000	
	「 A A S D 」 支 出	4,000,000	4,000,000	0	
	I D F / W P R 支 出	0	10,000,000	△ 10,000,000	
	I S P A D 開 催 支 出	2,000,000	0	2,000,000	
Web名簿運営費用		(3,780,000)	(0)	(3,780,000)	
	シ ス テ ム 構 築 支 出	2,500,000	0	2,500,000	
	シ ス テ ム 使 用 料	1,280,000	0	1,280,000	
学術研究助成支出		(2,500,000)	(2,500,000)	(0)	
	学 術 研 究 助 成 支 出	2,000,000	2,000,000	0	
	Y I A 支 出	500,000	500,000	0	
坂口賞支出		(100,000)	(111,300)	(△ 11,300)	
	坂 口 賞 支 出	100,000	111,300	△ 11,300	
管 理 費 支 出		[97,400,000]	[147,715,024]	[△ 50,315,024]	
	給 料 手 当 支 出	48,000,000	51,955,913	△ 3,955,913	
	退 職 金 支 出	0	35,732,064	△ 35,732,064	
	福 利 厚 生 費 支 出	7,000,000	7,737,238	△ 737,238	
	会 議 費 支 出	2,000,000	1,618,255	381,745	
	旅 費 交 通 費 支 出	5,000,000	6,490,926	△ 1,490,926	
	通 信 運 搬 費 支 出	5,000,000	9,683,827	△ 4,683,827	
	事 務 費 支 出	3,000,000	7,490,837	△ 4,490,837	
	印 刷 製 本 費 支 出	2,500,000	6,128,286	△ 3,628,286	
	支 払 手 数 料 支 出	12,000,000	9,282,410	2,717,590	
	光 熱 水 料 費 支 出	900,000	835,408	64,592	
	賃 借 料 支 出	11,000,000	9,820,518	1,179,482	
	雑 費 支 出	1,000,000	939,342	60,658	
他会計への繰入金支出		[24,850,000]	[29,894,500]	[△ 5,044,500]	
学術・地方集会開催事業支出		(24,850,000)	(29,894,500)	(△ 5,044,500)	
	糖尿病学の進歩会計への繰入金支出	4,000,000	4,000,000	0	
	年次学術集会会計への繰入金支出	9,000,000	14,000,000	△ 5,000,000	
	支部会計への繰入金支出	11,850,000	11,894,500	△ 44,500	
事 業 活 動 支 出 計 (B)		391,830,000	387,515,227	4,314,773	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)		△ 129,630,000	△ 39,569,184	△ 90,060,816	
Ⅱ. 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特 定 資 産 取 崩 収 入		(132,405,310)	(258,661,327)	(△ 126,256,017)	
	坂 口 賞 積 立 資 産 取 崩 収 入	0	17,440,353	△ 17,440,353	
	学 会 賞 積 立 資 産 取 崩 収 入	0	1,953,510	△ 1,953,510	
	名 簿 作 成 積 立 資 産 取 崩 収 入	11,000,000	11,000,000	0	
	学術調査研究積立資産取崩収入	83,305,310	83,305,310	0	
	国際情報交流基金資産取崩収入	10,000,000	30,330,090	△ 20,330,090	
	OA 機 器 積 立 資 産 取 崩 収 入	0	16,620,000	△ 16,620,000	
	事務所移転・営繕積立資産取崩収入	0	34,180,000	△ 34,180,000	
	国際会議誘致準備積立資金取崩収入	28,100,000	28,100,000	0	
	退 職 給 付 引 当 資 産 取 崩 収 入	0	35,732,064	△ 35,732,064	
投 資 活 動 収 入 計 (D)		132,405,310	258,661,327	△ 126,256,017	
2. 投資活動支出					
特 定 資 産 取 得 支 出		(2,500,000)	(1,455,164)	(1,044,836)	
	退 職 給 付 引 当 資 産 取 得 支 出	2,500,000	1,446,989	1,053,011	
	退 職 給 付 引 当 資 産 繰 入 支 出	0	3,546	△ 3,546	
	坂 口 賞 積 立 資 産 取 得 支 出	0	4,059	△ 4,059	
	学 会 賞 積 立 資 産 繰 入 額	0	570	△ 570	
投 資 活 動 支 出 計 (E)		2,500,000	1,455,164	1,044,836	
投 資 活 動 収 支 差 額 (F) = (D) - (E)		129,905,310	257,206,163	△ 127,300,853	
Ⅲ. 予備費支出 (G)					
当 期 収 支 差 額 (H) = (C) + (F) - (G)		△ 30,374,690	217,636,979	△ 248,011,669	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (I)		113,552,538	113,552,538	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (H) + (I)		83,177,848	331,189,517	△ 248,011,669	

会 報

6. 収 支 計 算 書（専門医特別会計）

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

（ 単 位 ： 円 ）

科 目			予算額	決算額	差 異	備考
Ⅰ. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
事 業 収 入			(29,900,000)	(26,710,000)	(3,190,000)	
	専門医認定審査料収入		3,300,000	3,110,000	190,000	
	専門医認定料収入		6,600,000	5,300,000	1,300,000	
	専門医更新審査料収入		13,400,000	12,400,000	1,000,000	
	専門医受験料収入		6,600,000	5,900,000	700,000	
事業活動収入計 (A)			29,900,000	26,710,000	3,190,000	
2. 事業活動支出						
事 業 費 支 出			[28,450,000]	[32,964,585]	[△ 4,514,585]	
	旅 費 交 通 費 支 出		10,000,000	13,369,525	△ 3,369,525	
	人 件 費 支 出		7,500,000	8,844,645	△ 1,344,645	
	会 議 費 支 出		3,000,000	2,719,169	280,831	
	会 場 費 支 出		4,000,000	3,543,133	456,867	
	通 信 費 支 出		800,000	1,916,177	△ 1,116,177	
	消 耗 品 費 支 出		100,000	978,435	△ 878,435	
	印 刷 製 本 費 支 出		2,000,000	711,214	1,288,786	
	雑 費 支 出		1,050,000	882,287	167,713	
他 会 計 へ の 繰 入 金 支 出			[2,100,000]	[981,254]	[1,118,746]	
	支部認定委員会への繰入金支出		2,100,000	981,254	1,118,746	
事業活動支出計 (B)			30,550,000	33,945,839	△ 3,395,839	
事業活動収支差額 (C) = (A) - (B)			△ 650,000	△ 7,235,839	6,585,839	
Ⅱ. 予 備 費 支 出 (D)			250,000	0	250,000	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			△ 900,000	△ 7,235,839	6,335,839	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			27,842,428	27,842,428	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)			26,942,428	20,606,589	6,335,839	

6. 収 支 計 算 書 (学術集会特別会計)

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目			予算額	決算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
事業収入			(231,200,000)	(332,661,334)	(△ 101,461,334)	
	参加費収入		96,440,000	100,106,400	△ 3,666,400	
	展示会出展料収入		48,075,000	83,691,300	△ 35,616,300	
	各種セミナー共催費収入		57,330,000	104,737,500	△ 47,407,500	
	広告掲載料収入		5,355,000	17,713,500	△ 12,358,500	
	寄付金・助成金収入		24,000,000	25,480,000	△ 1,480,000	
	その他の収入		0	932,634	△ 932,634	
他会計からの繰入金収入			(9,000,000)	(14,000,000)	(△ 5,000,000)	
	本部会計からの繰入金収入		9,000,000	14,000,000	△ 5,000,000	
事業活動収入計 (A)			240,200,000	346,661,334	△ 106,461,334	
2. 事業活動支出						
事業費支出			[233,100,000]	[279,191,869]	[△ 46,091,869]	
会議準備費支出			(43,000,000)	(64,655,878)	(△ 21,655,878)	
	事務局費支出		4,000,000	10,411,391	△ 6,411,391	
	会議費支出		1,000,000	1,530,984	△ 530,984	
	印刷関係費支出		19,000,000	11,969,805	7,030,195	
	通信費・運搬費支出		1,000,000	429,460	570,540	
	委託費支出		18,000,000	40,314,238	△ 22,314,238	
会議運営費支出			(173,800,000)	(198,794,632)	(△ 24,994,632)	
	事務局費支出		1,500,000	22,389,669	△ 20,889,669	
	会場関係費支出		45,000,000	42,375,231	2,624,769	
	機材関係費支出		44,000,000	41,130,983	2,869,017	
	看板・ポスター・パネル関係費支出		8,000,000	11,363,670	△ 3,363,670	
	要員関係費支出		12,000,000	11,861,290	138,710	
	展示会場設営費支出		8,500,000	6,900,000	1,600,000	
	消耗品・その他運営費支出		4,800,000	28,755,930	△ 23,955,930	
	飲食・会合関係費支出		15,000,000	4,918,989	10,081,011	
	招待者旅費関係費支出		35,000,000	29,098,870	5,901,130	
事後処理費支出			(1,300,000)	(3,673,459)	(△ 2,373,459)	
その他経費支出			(15,000,000)	(12,067,900)	(2,932,100)	
他会計への繰入金支出			[0]	[67,469,465]	[△ 67,469,465]	
	本部会計への繰入金支出		0	67,469,465	△ 67,469,465	
事業活動支出計 (B)			233,100,000	346,661,334	△ 113,561,334	
事業活動収支差額 (C) = (A) - (B)			7,100,000	0	7,100,000	
II. 予備費支出 (D)			7,100,000	0	7,100,000	
当期収支差額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前期繰越収支差額 (F)			0	0	0	
次期繰越収支差額 (J) = (E) - (F)			0	0	0	

会 報

6. 収 支 計 算 書（進歩特別会計）

自平成23年4月1日

至平成24年3月31日

（単位：円）

科 目			予算額	決算額	差 異	備考
Ⅰ. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
事業収入			(83,000,000)	(87,079,589)	(△ 4,079,589)	
	参加費		35,000,000	27,686,000	7,314,000	
	展示出展料		25,000,000	29,263,500	△ 4,263,500	
	共催セミナー		7,000,000	24,465,000	△ 17,465,000	
	広告費		8,000,000	4,284,485	3,715,515	
	その他補助金		7,900,000	1,379,000	6,521,000	
	雑収入		100,000	1,604	98,396	
他会計からの繰入金収入			(4,000,000)	(4,000,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入		4,000,000	4,000,000	0	
事業活動収入計(A)			87,000,000	91,079,589	△ 4,079,589	
2. 事業活動支出						
事業費支出			[84,000,000]	[80,968,311]	[3,031,689]	
会議準備費支出			(18,900,000)	(17,743,157)	(1,156,843)	
	演題処理関係費支出		6,000,000	8,141,400	△ 2,141,400	
	事前登録処理費支出		400,000	220,500	179,500	
	印刷・製作物関係費支出		4,000,000	4,152,825	△ 152,825	
	通信・運搬関係費支出		500,000	301,120	198,880	
	事前準備人件費、打合費支出		5,000,000	1,729,275	3,270,725	
	ホームページ作成費支出		1,000,000	1,919,505	△ 919,505	
	消耗品・備品関係費支出		2,000,000	1,278,532	721,468	
会議運営費支出			(59,300,000)	(53,817,839)	(5,482,161)	
	会場関係費支出		18,000,000	12,704,519	5,295,481	
	機材・看板関係費支出		15,000,000	14,893,785	106,215	
	機器展示関係費支出		4,000,000	2,901,150	1,098,850	
	運営要員関係費支出		7,300,000	7,783,720	△ 483,720	
	会合費支出		3,000,000	1,692,781	1,307,219	
	招聘費支出		12,000,000	13,841,884	△ 1,841,884	
事後処理費支出			(800,000)	(344,675)	(455,325)	
その他経費支出			(5,000,000)	(9,062,640)	(△ 4,062,640)	
他会計への繰入金支出			[0]	[10,111,278]	[△ 10,111,278]	
	本部会計への繰入金支出		0	10,111,278	△ 10,111,278	うち納税準備金944万円
事業活動支出計(B)			84,000,000	91,079,589	△ 7,079,589	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)			3,000,000	0	3,000,000	
Ⅱ. 予備費支出(D)			3,000,000	0	3,000,000	
当期収支差額(E)=(C)-(D)			0	0	0	
前期繰越収支差額(F)			0	0	0	
次期繰越収支差額(I)=(E)-(F)			0	0	0	

6. 収 支 計 算 書 (支部特別会計)

自平成 23 年 4 月 1 日

至平成 24 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目			予算額	決算額	差 異	備考
Ⅰ. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
事 業 収 入			(0)	(452,018)	(△ 452,018)	
	雑 収 入		0	452,018	△ 452,018	
他 会 計 からの 繰 入 金 収 入			(11,850,000)	(22,835,596)	(△ 10,985,596)	
	本部会計からの繰入金収入		11,850,000	11,894,500	△ 44,500	
	地方会会計からの繰入金収入		0	10,941,096	△ 10,941,096	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			11,850,000	23,287,614	△ 11,437,614	
2. 事業活動支出						
事 業 費 支 出			[6,529,500]	[5,903,705]	[625,795]	
	人 件 費 支 出		1,650,000	1,218,883	431,117	
	通 信 費 支 出		380,000	605,895	△ 225,895	
	印 刷 費 支 出		350,000	127,236	222,764	
	会 議 費 支 出		1,438,000	867,032	570,968	
	旅 費 交 通 費 支 出		650,000	825,840	△ 175,840	
	事 務 費 支 出		252,000	300,317	△ 48,317	
	消 耗 品 費 支 出		150,000	66,454	83,546	
	サマーキャンプ補助金支出		0	1,600,000	△ 1,600,000	
	雑 費 支 出		1,659,500	292,048	1,367,452	
他 会 計 への 繰 入 金 支 出			[3,950,000]	[5,049,000]	[△ 1,099,000]	
	地方会会計への繰入金支出		3,950,000	5,049,000	△ 1,099,000	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			10,479,500	10,952,705	△ 473,205	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			1,370,500	12,334,909	△ 10,964,409	
Ⅱ. 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
特 定 資 産 取 崩 収 入			(0)	(74,632,330)	(△ 74,632,330)	
	支部運営積立資産収入			74,632,330	△ 74,632,330	
投 資 活 動 収 入 計 (D)			0	74,632,330	△ 74,632,330	
2. 投資活動支出						
特 定 資 産 取 得 支 出			(0)	(0)	(0)	
	支部運営積立資産支出		0		0	
投 資 活 動 支 出 計 (E)			0	0	0	
投 資 活 動 収 支 差 額 (F) = (D) - (E)			0	74,632,330	△ 74,632,330	
Ⅲ. 予備費支出 (G)			1,370,500	0	1,370,500	
当 期 収 支 差 額 (H) = (C) + (F) - (G)			0	86,967,239	△ 86,967,239	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (I)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (H) + (I)			0	86,967,239	△ 86,967,239	

会 報

6. 収 支 計 算 書（地方会特別会計）

自平成23年4月1日

至平成24年3月31日

（単位：円）

科 目			予算額	決算額	差 異	備考
Ⅰ. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
事業収入			(75,035,000)	(126,965,803)	(△ 51,930,803)	
	参加費		25,350,000	46,332,500	△ 20,982,500	
	寄付金		15,570,000	8,188,000	7,382,000	
	広告料		7,240,000	7,793,000	△ 553,000	
	展示料		8,240,000	15,753,866	△ 7,513,866	
	共催セミナー		17,935,000	46,534,600	△ 28,599,600	
	雑収入		700,000	2,363,837	△ 1,663,837	
他会計からの繰入金収入			(3,950,000)	(5,049,000)	(△ 1,099,000)	
	支部会計からの繰入金収入		3,950,000	5,049,000	△ 1,099,000	
事業活動収入計(A)			78,985,000	132,014,803	△ 53,029,803	
2. 事業活動支出						
地方会事業費支出			[71,257,900]	[121,073,707]	[△ 49,815,807]	
	会場賃借料支出		17,716,950	23,739,963	△ 6,023,013	
	会場設営費支出		13,780,950	23,615,325	△ 9,834,375	
	機器使用料支出		9,356,200	19,595,577	△ 10,239,377	
	印刷費支出		9,187,600	17,163,110	△ 7,975,510	
	通信費支出		3,143,500	2,719,774	423,726	
	事務費支出		3,782,700	10,262,491	△ 6,479,791	
	消耗品費支出		1,838,000	2,254,090	△ 416,090	
	旅費交通費支出		2,920,000	2,953,432	△ 33,432	
	人件費支出		7,692,000	9,551,274	△ 1,859,274	
	雑費支出		1,840,000	8,669,509	△ 6,829,509	
	租税公課支出		0	549,162	△ 549,162	
他会計への繰入金支出			[0]	[10,941,096]	[△ 10,941,096]	
	支部会計への繰入金支出		0	10,941,096	△ 10,941,096	
事業活動支出計(B)			71,257,900	132,014,803	△ 60,756,903	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)			7,727,100	0	7,727,100	
Ⅱ. 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
特定資産取崩収入			(0)	(0)	(0)	
投資活動収入計(D)			0	0	0	
2. 投資活動支出						
特定資産取得支出			(0)	(0)	(0)	
投資活動支出計(E)			0	0	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)			0	0	0	
Ⅲ. 予備費支出 (G)			7,727,100	0	7,727,100	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)			0	0	0	
前期繰越収支差額(I)			0	0	0	
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)			0	0	0	

6. 収 支 計 算 書 (支部認定委員会特別会計)

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目			予算額	決算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
事 業 収 入			(0)	(419)	(△ 419)	
	寄 付 金 収 入		0	419	△ 419	
他 会 計 からの 繰 入 金 収 入			(2,100,000)	(981,254)	(1,118,746)	
	専門医特別会計からの繰入金収入		2,100,000	981,254	1,118,746	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			2,100,000	981,673	1,118,327	
2. 事業活動支出						
支 部 認 定 委 員 会 事 業 費 支 出			[2,100,000]	[981,523]	[1,118,477]	
	通 信 費 支 出		200,000	77,216	122,784	
	印 刷 費 支 出		200,000	0	200,000	
	会 議 費 支 出		220,000	179,670	40,330	
	旅 費 交 通 費 支 出		1,130,000	710,540	419,460	
	事 務 費 支 出		30,000	14,097	15,903	
	消 耗 品 費 支 出		320,000	0	320,000	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			2,100,000	981,523	1,118,477	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			0	150	△ 150	
II. 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
特 定 資 産 取 崩 収 入			(0)	(2,101,277)	(△ 2,101,277)	
投 資 活 動 収 入 計 (D)			0	2,101,277	△ 2,101,277	
2. 投資活動支出						
特 定 資 産 取 得 支 出			(0)	(0)	(0)	
	支 部 運 営 積 立 資 産 支 出		0		0	
投 資 活 動 支 出 計 (E)			0	0	0	
投 資 活 動 収 支 差 額 (F) = (D) - (E)			0	2,101,277	△ 2,101,277	
III. 予備費支出 (G)			0	0	0	
当 期 収 支 差 額 (H) = (C) + (F) - (G)			0	2,101,427	△ 2,101,427	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (I)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (H) + (I)			0	2,101,427	△ 2,101,427	

7. 収 支 計 算 書 (一般会計) に 対 す る 注 記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用・前受金及び立替金・預り金・未払金を含めることにしている。なお、当期末残高は2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	117,181,681	346,111,676
未 収 入 金	35,291,142	24,837,754
立 替 金	27,663,761	18,086,671
前 払 費 用	3,503,317	7,348,986
合 計	183,639,901	396,385,087
前 受 金	18,342,800	33,188,800
預 り 金	1,127,627	1,143,884
未 払 金	50,616,936	30,862,886
合 計	70,087,363	65,195,570
次 期 繰 越 収 支 差 額	113,552,538	331,189,517

7. 収 支 計 算 書 (専門医会計) に 対 す る 注 記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用・前受金及び立替金・預り金・未払金を含めることにしている。なお、当期末残高は2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	27,952,428	21,286,589
合 計	27,952,428	21,286,589
前 受 金	110,000	680,000
合 計	110,000	680,000
次 期 繰 越 収 支 差 額	27,842,428	20,606,589

7. 収 支 計 算 書 (支部会計) に 対 す る 注 記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用・前受金及び立替金・預り金・未払金を含めることにしている。なお、当期末残高は2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	0	86,967,239
合 計	0	86,967,239
次 期 繰 越 収 支 差 額	0	86,967,239

7. 収 支 計 算 書 (支部認定委員会会計) に 対 す る 注 記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用・前受金及び立替金・預り金・未払金を含めることにしている。なお、当期末残高は2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	0	2,101,427
合 計	0	2,101,427
次 期 繰 越 収 支 差 額	0	2,101,427

糖尿病 55巻7号 (2012)

8. 正味財産増減計算書総括表
自 平成23年4月 1日
至 平成24年3月31日

(単位:円)

科 目	一般会計	専門医 特別会計	学術集会 特別会計	糖尿病学の進歩 特別会計	支部 特別会計	地方会 特別会計	支部認定委員会 特別会計	内部取引消去	合計
I. 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用収入	611,675								611,675
会費収入	173,980,000								173,980,000
正会員会費収入	164,580,000								164,580,000
賛助会員会費収入	9,400,000								9,400,000
事業収入	59,992,102	26,710,000	332,661,334	87,079,589	452,018	126,965,803	419		633,861,265
出版事業収入	59,992,102								59,992,102
専門医認定審査料収入		3,110,000							3,110,000
専門医認定料収入		5,300,000							5,300,000
専門医更新審査料収入		12,400,000							12,400,000
専門医受験料収入		5,900,000							5,900,000
参加費収入			100,106,400	27,686,000		46,332,500			174,124,900
展示会出展料収入			83,691,300	29,263,500		15,753,866			128,708,666
各種セミナー共催費収入			104,737,500	24,465,000		46,534,600			175,737,100
広告掲載料収入			17,713,500	4,284,485		7,793,000			29,790,985
寄付金・助成金収入			25,480,000	1,379,000		8,188,000	419		35,047,419
その他の他収入			932,634	1,604	452,018	2,363,837			3,750,093
寄附金収入	2,100,000								2,100,000
寄附金収入	2,100,000								2,100,000
雑収入	33,681,523								33,681,523
受取利息収入	811,887								811,887
雑収入	32,869,636								32,869,636
他会計からの繰入金収入	77,580,743		14,000,000	4,000,000	22,835,596	5,049,000	981,254	△ 124,446,593	0
学術集体会計からの繰入金収入	67,469,465							△ 67,469,465	0
進歩会計からの繰入金収入	10,111,278							△ 10,111,278	0
本部会計からの繰入金収入			14,000,000	4,000,000	11,894,500		981,254	△ 30,875,754	0
地方会計からの繰入金収入					10,941,096			△ 10,941,096	0
支部会計からの繰入金収入						5,049,000		△ 5,049,000	0
経常収益計	347,946,043	26,710,000	346,661,334	91,079,589	23,287,614	132,014,803	981,673	△ 124,446,593	844,234,463
(2) 経常費用									
事業費	209,905,703	32,964,585	279,191,869	80,968,311	5,903,705	121,073,707	981,523		730,989,403
旅費交通費	21,289,310	13,369,525			825,840	2,953,432	710,540		39,148,647
通信運搬費	24,973,958	1,916,177	429,460	301,120	605,895	2,719,774	77,216		31,023,600
事務費	476,501								476,501
調査費	35,598,310								35,598,310
印刷製本費	92,346,899	711,214	11,969,805		127,236	17,163,110	0		122,318,264
会議費	11,478,901	2,719,169	1,530,984		867,032		179,670		16,775,756
消耗品費	1,120,182								1,120,182
ホームページ管理費	2,247,525								2,247,525
雑費	1,575	882,287			292,048	8,669,509			9,845,419
租税公課	412,800					549,162			961,962
国際糖尿病学会費	848,442								848,442
「世界糖尿病デー」開催	2,500,000								2,500,000
「A A S S D」支出	4,000,000								4,000,000
I D F / W P R 支出	10,000,000								10,000,000
学術研究助成	2,500,000								2,500,000
サマーキャンプ補助金					1,600,000				1,600,000
版口費	111,300								111,300
人件費		8,844,645			1,218,883	9,551,274			19,614,802
会場費		3,543,133	42,375,231	12,704,519		23,739,963			82,362,846
消耗品費		978,435			66,454	2,254,090	0		3,298,979
事務局費			32,801,060		300,317	10,262,491	14,097		43,377,965
委託費			40,314,238			23,615,325			63,929,563
機材・看板関係費			52,494,653	14,893,785		19,595,577			86,984,015
要員関係費			11,861,290						11,861,290
展示会場設営費			6,900,000	2,901,150					9,801,150
消耗品・その他運営費			28,755,930						28,755,930
飲食・会合関係費			4,918,989						4,918,989
招待者旅費関係費			29,098,870						29,098,870
事後処理費			3,673,459	344,675					4,018,134
その他の経費			12,067,900	9,062,640					21,130,540
演題処理関係費				8,141,400					8,141,400
事前登録処理費				220,500					220,500
印刷・製作物関係費				4,152,825					4,152,825
事前準備人件費・打合費				1,729,275					1,729,275
ホームページ作成費				1,919,505					1,919,505
消耗品・備品関係費				1,278,532					1,278,532
運営要員関係費				7,783,720					7,783,720
会合費				1,692,781					1,692,781
招聘費				13,841,884					13,841,884
管理費	113,491,089								113,491,089
給料手当	51,955,913								51,955,913
退職給付費用	1,450,535								1,450,535
福利厚生費	7,737,238								7,737,238
会議費	1,618,255								1,618,255
旅費交通費	6,490,326								6,490,326
通信運搬費	9,683,827								9,683,827
事務費	7,490,837								7,490,837
印刷製本費	6,128,286								6,128,286
支払手数料	9,282,410								9,282,410
光熱水料	835,408								835,408
賃借料	9,820,518								9,820,518
雑費	939,342								939,342
減価償却費	57,594								57,594
他会計への繰入額	29,894,500	981,254	67,469,465	10,111,278	5,049,000	10,941,096	0	△ 124,446,593	0
糖尿病学の進歩会計への繰入額	4,000,000							△ 4,000,000	0
年次学術集体会計への繰入額	14,000,000							△ 14,000,000	0
支部会計への繰入額	11,894,500					10,941,096		△ 22,835,596	0
支部認定委員会への繰入額		981,254						△ 981,254	0
本部会計への繰入額			67,469,465	10,111,278				△ 77,580,743	0
地方会会计への繰入額					5,049,000			△ 5,049,000	0
経常費用計	353,291,292	33,945,839	346,661,334	91,079,589	10,952,705	132,014,803	981,523	△ 124,446,593	844,480,492
当期経常増減額	△ 5,345,249	△ 7,235,839	0	0	12,334,909	0	150	0	△ 246,029
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 5,345,249	△ 7,235,839	0	0	12,334,909	0	150		△ 246,029
一般正味財産期首残高	336,832,416	27,842,428			74,632,330		2,101,277		441,408,451
一般正味財産期末残高	331,487,167	20,606,589	0	0	86,967,239	0	2,101,427	0	441,162,422
II. 指定正味財産増減の部									
(1) 基本財産運用益									
基本財産受取利息	611,675								611,675
(2) 一般正味財産への振替額									
一般正味財産への振替額	△ 611,675								△ 611,675
当期指定正味財産取支差額	0								0
指定正味財産期首残高	50,000,000								50,000,000
指定正味財産期末残高	50,000,000								50,000,000
III. 正味財産期末残高	381,487,167	20,606,589	0	0	86,967,239	0	2,101,427	0	491,162,422

会 報

9. 正味財産増減計算書（一般会計）

自平成23年4月1日

至平成24年3月31日

科 目			当年度	前年度	増 減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用収入			(611,675)	(609,999)	(1,676)
	基本財産運用収入		611,675	609,999	1,676
会費収入			(173,980,000)	(166,900,000)	(7,080,000)
	正会員会費収入		164,580,000	158,900,000	5,680,000
	賛助会員会費収入		9,400,000	8,000,000	1,400,000
事業収入			(59,992,102)	(92,616,744)	(△ 32,624,642)
	出版事業収入		59,992,102	92,616,744	△ 32,624,642
寄附金収入			(2,100,000)	(2,000,000)	(100,000)
	寄附金収入		2,100,000	2,000,000	100,000
雑収入			(33,681,523)	(5,413,265)	(28,268,258)
	受取利息収入		811,887	1,348,221	△ 536,334
	雑収入		32,869,636	4,065,044	28,804,592
他会計からの繰入金収入			(77,580,743)	(22,582,702)	(54,998,041)
	学術集會会計からの繰入金収入		67,469,465	6,817,378	60,652,087
	進歩会計からの繰入金収入		10,111,278	15,765,324	△ 5,654,046
経常収益計(A)			347,946,043	290,122,710	57,823,333
(2) 経常費用					
事業費			(209,905,703)	(175,575,807)	(34,329,896)
	調査研究費		(18,056,402)	(12,009,760)	(6,046,642)
		旅費交通費支出	1,332,660	2,189,680	△ 857,020
		通信運搬費	28,340	85,860	△ 57,520
		事務費	81,401	16,587	64,814
		調査費	15,175,112	8,203,486	6,971,626
		印刷製本費	58,155	16,000	42,155
		会議費	1,380,734	1,498,147	△ 117,413
	糖尿病総合対策		(28,347,538)	(7,405,627)	(20,941,911)
		通信費	282,720	66,680	216,040
		印刷製本費	903,219	0	903,219
		会議費	3,147,989	703,730	2,444,259
		旅費交通費	2,470,230	1,805,217	665,013
		調査研究費	20,423,198	4,830,000	15,593,198
		消耗品費	1,120,182	0	1,120,182
	インターネット委員会		(2,585,985)	(2,405,774)	(180,211)
		通信費	226,851	241,294	△ 14,443
		印刷製本費	0	0	0
		備品費	0	0	0
		会議費	109,809	0	109,809
		IT関係整備費	0	209,580	△ 209,580
		ホームページ管理費	2,247,525	1,950,900	296,625
		旅費交通費	1,800	4,000	△ 2,200
	選挙管理委員会		(290,000)	(373,685)	(△ 83,685)
		旅費交通費	290,000	285,790	4,210
		会議費	0	87,895	△ 87,895
		印刷製本費	0	0	0
		事務費	0	0	0
	各種委員会		(6,656,284)	(7,881,162)	(△ 1,224,878)
		会議費	2,306,929	1,908,680	398,249
		旅費交通費	4,345,070	5,945,775	△ 1,600,705
		通信費	2,710	24,292	△ 21,582
		雑費	1,575	2,415	△ 840
	出版事業		(130,279,327)	(112,971,534)	(17,307,793)
	「糖尿病」				
		旅費交通費	10,470,305	5,864,940	4,605,365
		通信運搬費	24,408,857	23,408,980	999,877
		会議費	3,181,008	2,203,672	977,336
		事務費	122,310	625,530	△ 503,220
		印刷製本費	75,645,815	71,502,394	4,143,421
		租税公課	412,800	261,327	151,473
	「英文誌」				
		旅費交通費	1,040	246,640	△ 245,600
		通信運搬費	20,880	59,110	△ 38,230
		会議費	265,157	218,220	46,937
		事務費	11,445	168,645	△ 157,200
		印刷製本費	15,739,710	8,412,076	7,327,634

糖尿病 55巻7号 (2012)

科 目		当年度	前年度	増 減
	国 際 交 流 事 業	(21,078,867)	(15,250,741)	(5,828,126)
	旅 費 交 通 費	2,378,205	2,901,194	△ 522,989
	国 際 学 会 費	848,442	868,283	△ 19,841
	事 務 費	261,345	24,922	236,423
	会 議 費	1,087,275	455,392	631,883
	通 信 運 搬 費	3,600	950	2,650
	「世界糖尿病デー」開催	2,500,000	5,000,000	△ 2,500,000
	「A A S D」支出	4,000,000	4,000,000	0
	I D F / W P R 支 出	10,000,000	2,000,000	8,000,000
	「用語集」作成	(0)	(12,221,874)	(△ 12,221,874)
	印 刷 製 本 費	0	12,221,874	△ 12,221,874
	発 送 費	0	0	0
	助 成 金	(0)	(3,000,000)	(△ 3,000,000)
	助 成 金	0	3,000,000	△ 3,000,000
	学 術 研 究 助 成	(2,500,000)	(2,000,000)	(500,000)
	学 術 研 究 助 成	2,000,000	2,000,000	0
	Y I A	500,000	0	500,000
	坂 口 賞	(111,300)	(55,650)	(55,650)
	坂 口 賞	111,300	55,650	55,650
管 理 費		(113,491,089)	(87,707,206)	(25,783,883)
	給 料 手 当	51,955,913	39,999,539	11,956,374
	退 職 給 付 費 用	1,450,535	2,528,938	△ 1,078,403
	福 利 厚 生 費	7,737,238	5,715,914	2,021,324
	会 議 費	1,618,255	1,680,280	△ 62,025
	旅 費 交 通 費	6,490,926	4,697,575	1,793,351
	通 信 運 搬 費	9,683,827	4,256,882	5,426,945
	事 務 費	7,490,837	3,653,992	3,836,845
	印 刷 製 本 費	6,128,286	1,890,537	4,237,749
	支 払 手 数 料	9,282,410	11,708,383	△ 2,425,973
	光 熱 水 料 費	835,408	799,029	36,379
	賃 借 料	9,820,518	10,209,462	△ 388,944
	雑 費	939,342	495,168	444,174
	減 価 償 却 費	57,594	71,507	△ 13,913
他 会 計 へ の 繰 出 額		(29,894,500)	(34,427,593)	(△ 4,533,093)
	学 術 ・ 地 方 集 会 開 催 事 業	(29,894,500)	(34,427,593)	(△ 4,533,093)
	糖尿病学の進歩会計への繰出額	4,000,000	4,000,000	0
	年次学術集會会計への繰出額	14,000,000	14,000,000	0
	支 部 会 計 へ の 繰 出 額	11,894,500	16,427,593	△ 4,533,093
経 常 費 用 計 (B)		353,291,292	297,710,606	55,580,686
当 期 経 常 増 減 額 (C) = (A) - (B)		△ 5,345,249	△ 7,587,896	2,242,647
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経 常 外 収 益 計 (D)		0	0	0
(2) 経常外費用				0
固 定 資 産 廃 棄 損		(0)	(31,078)	(△ 31,078)
	什 器 備 品 廃 棄 損	0	31,078	△ 31,078
経 常 外 費 用 計 (E)		0	31,078	△ 31,078
当 期 経 常 外 増 減 額 (F) = (D) - (E)		0	△ 31,078	31,078
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 (G) = (C) + (F)		△ 5,345,249	△ 7,618,974	2,273,725
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 (H)		336,832,416	344,451,390	△ 7,618,974
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高 (I) = (G) + (H)		331,487,167	336,832,416	△ 5,345,249
II. 指定正味財産増減の部				
(1) 基本財産運用益				
基 本 財 産 受 取 利 息		611,675	609,999	1,676
(2) 一般正味財産への振替額				
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額		△ 611,675	△ 609,999	△ 1,676
当 期 指 定 正 味 財 産 収 支 差 額 (J)		0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高 (K)		50,000,000	50,000,000	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高 (M) = (J) + (K)		50,000,000	50,000,000	0
III. 正味財産期末残高 (N) = (I) + (M)		381,487,167	386,832,416	△ 5,345,249

会 報

9. 正味財産増減計算書（専門医特別会計）

自平成23年4月1日

至平成24年3月31日

（単位：円）

科 目			当年度	前年度	増 減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
事業収入			(26,710,000)	(31,180,000)	(△ 4,470,000)
	専門医認定審査料収入		3,110,000	2,700,000	410,000
	専門医認定料収入		5,300,000	4,720,000	580,000
	専門医更新審査料収入		12,400,000	18,240,000	△ 5,840,000
	専門医受験料収入		5,900,000	5,520,000	380,000
経常収益計(A)			26,710,000	31,180,000	△ 4,470,000
(2)経常費用					
事業費支出			[32,964,585]	[38,683,758]	[△ 5,719,173]
	旅費交通費		13,369,525	12,703,790	665,735
	人件費		8,844,645	6,684,440	2,160,205
	会議費		2,719,169	2,902,366	△ 183,197
	会場費		3,543,133	3,042,652	500,481
	通信費		1,916,177	4,744,650	△ 2,828,473
	消耗品費		978,435	6,967,756	△ 5,989,321
	印刷製本費		711,214	890,796	△ 179,582
	雑費		882,287	747,308	134,979
他会計への繰出額			[981,254]	[841,073]	[140,181]
	支部認定委員会への繰出額		981,254	841,073	140,181
経常費用計(B)			33,945,839	39,524,831	△ 5,578,992
当期経常増減額(C)=(A)-(B)			△ 7,235,839	△ 8,344,831	1,108,992
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益			0	0	0
経常外収益計(D)			0	0	0
(2)経常外費用			0	0	0
経常外費用計(E)			0	0	0
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)			0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)			△ 7,235,839	△ 8,344,831	1,108,992
一般正味財産期首残高(H)			27,842,428	36,187,259	△ 8,344,831
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)			20,606,589	27,842,428	△ 7,235,839
Ⅱ. 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産収支差額(J)			0	0	0
指定正味財産期首残高			0	0	0
指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K)			0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高(M)=(I)+(L)			20,606,589	27,842,428	△ 7,235,839

9. 正味財産増減計算書（学術集会特別会計）

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

（単位：円）

科 目			当年度	前年度	増 減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
事業収入			(332,661,334)	(356,915,580)	(△ 24,254,246)
	参加費		100,106,400	108,888,000	△ 8,781,600
	展示会出展料		83,691,300	81,605,550	2,085,750
	各種セミナー共催費		104,737,500	103,424,700	1,312,800
	広告掲載料		17,713,500	22,802,200	△ 5,088,700
	寄付金・助成金		25,480,000	35,330,000	△ 9,850,000
	その他収入		932,634	4,865,130	△ 3,932,496
他会計からの繰入金収入			(14,000,000)	(14,000,000)	(0)
	本部会計からの繰入金収入		14,000,000	14,000,000	0
経常収益計 (A)			346,661,334	370,915,580	△ 24,254,246
(2) 経常費用					
事業費支出			[279,191,869]	[364,098,202]	[△ 84,906,333]
	会議準備費		(64,655,878)	(70,258,050)	(△ 5,602,172)
		事務局費	10,411,391	13,831,440	△ 3,420,049
		会議費	1,530,984	1,860,005	△ 329,021
		印刷関係費	11,969,805	38,829,840	△ 26,860,035
		通信費・運搬費	429,460	1,246,914	△ 817,454
		委託費	40,314,238	14,489,851	25,824,387
	会議運営費		(198,794,632)	(278,589,172)	(△ 79,794,540)
		事務局費	22,389,669	0	22,389,669
		会場関係費	42,375,231	56,973,192	△ 14,597,961
		機材関係費	41,130,983	79,817,492	△ 38,686,509
		看板・ホスターパネル関係費	11,363,670	9,350,460	2,013,210
		要員関係費	11,861,290	41,380,675	△ 29,519,385
		展示会場設営費	6,900,000	26,854,321	△ 19,954,321
		消耗品・その他運営費	28,755,930	1,408,227	27,347,703
		飲食・会合関係費	4,918,989	34,601,876	△ 29,682,887
		招待者旅費関係費	29,098,870	28,202,929	895,941
	事後処理費		(3,673,459)	(2,031,180)	(1,642,279)
	その他経費		(12,067,900)	(13,219,800)	(△ 1,151,900)
他会計への繰出額			[67,469,465]	[6,817,378]	[60,652,087]
	本部会計への繰出額		67,469,465	6,817,378	60,652,087
経常費用計 (B)			346,661,334	370,915,580	△ 24,254,246
当期経常増減額 (C) = (A) - (B)			0	0	0
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益			0	0	0
経常外収益計 (D)			0	0	0
(2) 経常外費用			0	0	0
経常外費用計 (E)			0	0	0
当期経常外増減額 (F) = (D) - (E)			0	0	0
当期一般正味財産増減額 (G) = (C) + (F)			0	0	0
一般正味財産期首残高 (H)			0	0	0
一般正味財産期末残高 (I) = (G) + (H)			0	0	0
Ⅱ. 指定正味財産増減の部					0
当期指定正味財産収支差額 (J)			0	0	0
指定正味財産期首残高 (K)			0	0	0
指定正味財産期末残高 (L) = (J) + (K)			0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高 (M) = (I) + (L)			0	0	0

会 報

9. 正味財産増減計算書（進歩特別会計）

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

（ 単 位 ： 円 ）

科 目			当年度	前年度	増 減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
事業収入			(87,079,589)	(87,916,954)	(△ 837,365)
	参加費		27,686,000	34,690,000	△ 7,004,000
	展示出展料		29,263,500	37,426,883	△ 8,163,383
	共催セミナー		24,465,000	11,025,000	13,440,000
	広告費		4,284,485	1,806,000	2,478,485
	その他補助金		1,379,000	2,550,000	△ 1,171,000
	雑収入		1,604	419,071	△ 417,467
他会計からの繰入額			(4,000,000)	(4,000,000)	(0)
	本部会計からの繰入額		4,000,000	4,000,000	0
経常収益計(A)			91,079,589	91,916,954	△ 837,365
(2)経常費用					
事業費			[80,968,311]	[76,151,630]	[4,816,681]
	会議準備費		(17,743,157)	(13,540,927)	(4,202,230)
		演題処理関係費	8,141,400	207,932	7,933,468
		事前登録処理費	220,500	1,963,680	△ 1,743,180
		印刷・製作物関係費	4,152,825	4,309,200	△ 156,375
		通信・運搬関係費	301,120	996,844	△ 695,724
		事前準備人件費、打合せ費	1,729,275	2,653,560	△ 924,285
		ホームページ作成費	1,919,505	0	1,919,505
		消耗品・備品関係費	1,278,532	3,409,711	△ 2,131,179
	会議運営費		(53,817,839)	(55,600,203)	(△ 1,782,364)
		会場関係費	12,704,519	6,288,436	6,416,083
		機材・看板関係費	14,893,785	15,589,360	△ 695,575
		機器展示関係費	2,901,150	4,656,067	△ 1,754,917
		運営要員関係費	7,783,720	7,414,086	369,634
		会合費	1,692,781	10,047,018	△ 8,354,237
		招聘費	13,841,884	11,605,236	2,236,648
	事後処理費		(344,675)	(340,200)	(4,475)
	その他経費		(9,062,640)	(6,670,300)	(2,392,340)
他会計への繰出額			[10,111,278]	[15,765,324]	[△ 5,654,046]
	本部会計への繰出額		10,111,278	15,765,324	△ 5,654,046
経常費用計(B)			91,079,589	91,916,954	△ 837,365
当期経常増減額(C)=(A)-(B)			0	0	0
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益			0	0	0
経常外収益計(D)			0	0	0
(2)経常外費用			0	0	0
経常外費用計(E)			0	0	0
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)			0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)			0	0	0
一般正味財産期首残高(H)			0	0	0
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)			0	0	0
Ⅱ. 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産収支差額(J)			0	0	0
指定正味財産期首残高(K)			0	0	0
指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K)			0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高(M)=(I)+(L)			0	0	0

9. 正味財産増減計算書（支部特別会計）

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

（単位：円）

科 目			当年度	前年度	増 減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
事業収入			(452,018)	(63,000)	(389,018)
	雑収入		452,018	63,000	389,018
他会計からの繰入額			(22,835,596)	(23,836,252)	(△ 1,000,656)
	本部会計からの繰入額		11,894,500	16,427,593	△ 4,533,093
	地方会計からの繰入額		10,941,096	7,408,659	3,532,437
経常収益計(A)			23,287,614	23,899,252	△ 611,638
(2) 経常費用					
支部事業費			[5,903,705]	[8,486,916]	[△ 2,583,211]
	人件費		1,218,883	1,003,327	215,556
	通信費		605,895	641,670	△ 35,775
	印刷費		127,236	272,998	△ 145,762
	会議費		867,032	790,454	76,578
	旅費交通費		825,840	531,310	294,530
	事務費		300,317	299,243	1,074
	消耗品費		66,454	3,112	63,342
	サマーキャンプ補助金		1,600,000	4,625,593	△ 3,025,593
	雑費		292,048	319,209	△ 27,161
他会計への繰出額			[5,049,000]	[5,048,500]	[500]
	地方会会計への繰出額		5,049,000	5,048,500	500
経常費用計(B)			10,952,705	13,535,416	△ 2,582,711
当期経常増減額(C)=(A)-(B)			12,334,909	10,363,836	1,971,073
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益			0	0	0
経常外収益計(D)			0	0	0
(2) 経常外費用			0	0	0
経常外費用計(E)			0	0	0
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)			0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)			12,334,909	10,363,836	1,971,073
一般正味財産期首残高(H)			74,632,330	64,268,494	10,363,836
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)			86,967,239	74,632,330	12,334,909
Ⅱ. 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産収支差額(J)			0	0	0
指定正味財産期首残高			0	0	0
指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K)			0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高(M)=(I)+(L)			86,967,239	74,632,330	12,334,909

会 報

9. 正 味 財 産 増 減 計 算 書 （ 地方会特別会計 ）

自 平 成 23 年 4 月 1 日

至 平 成 24 年 3 月 31日

（ 単 位 ： 円 ）

科 目			当年度	前年度	増 減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
事 業 収 入			(126,965,803)	(115,302,993)	(11,662,810)
	参 加 費		46,332,500	40,929,500	5,403,000
	寄 付 金		8,188,000	16,766,975	△ 8,578,975
	広 告 料		7,793,000	10,603,500	△ 2,810,500
	展 示 料		15,753,866	14,715,236	1,038,630
	共 催 セ ミ ナ ー		46,534,600	29,635,000	16,899,600
	雑 収 入		2,363,837	2,652,782	△ 288,945
他 会 計 からの繰入額			(5,049,000)	(5,048,500)	(500)
	支 部 会 計 からの繰入額		5,049,000	5,048,500	500
経 常 収 益 計 (A)			132,014,803	120,351,493	11,663,310
(2)経常費用					
事 業 費			[121,073,707]	[112,942,834]	[8,130,873]
	会 場 賃 借 料		23,739,963	18,998,741	4,741,222
	会 場 設 営 費		23,615,325	16,084,349	7,530,976
	機 器 使 用 料		19,595,577	18,106,389	1,489,188
	印 刷 費		17,163,110	14,561,887	2,601,223
	通 信 費		2,719,774	4,377,664	△ 1,657,890
	事 務 費		10,262,491	11,576,758	△ 1,314,267
	消 耗 品 費		2,254,090	1,948,131	305,959
	旅 費 交 通 費		2,953,432	3,865,397	△ 911,965
	人 件 費		9,551,274	11,502,082	△ 1,950,808
	雑 費		8,669,509	8,440,741	228,768
	租 税 公 課		549,162	3,480,695	△ 2,931,533
他 会 計 への繰出額			[10,941,096]	[7,408,659]	[3,532,437]
	支 部 会 計 への繰出額		10,941,096	7,408,659	3,532,437
経 常 費 用 計 (B)			132,014,803	120,351,493	11,663,310
当 期 経 常 増 減 額 (C)=(A)－(B)			0	0	0
2. 経常外増減の部					0
(1)経常外収益			0	0	0
経 常 外 収 益 計 (D)			0	0	0
(2)経常外費用			0	0	0
経 常 外 費 用 計			0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額 (F)=(D)－(E)			0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 (G)=(C)+(F)			0	0	0
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 (H)			0	0	0
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高 (I)=(G)+(H)			0	0	0
Ⅱ. 指定正味財産増減の部					0
当 期 指 定 正 味 財 産 収 支 差 額 (J)			0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高 (K)			0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高 (L)=(J)+(K)			0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高 (M)=(I)+(L)			0	0	0

9. 正味財産増減計算書（支部認定委員会特別会計）

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

（単位：円）

科 目			当年度	前年度	増 減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
事業収入			(419)	(471)	(△ 52)
	雑収入		419	471	△ 52
他会計からの繰入額			(981,254)	(841,073)	(140,181)
	本部会計からの繰入額		981,254	841,073	140,181
経常収益計 (A)			981,673	841,544	140,129
(2) 経常費用					
事業費			[981,523]	[843,311]	[138,212]
	通信費		77,216	93,640	△ 16,424
	印刷費		0	0	0
	会議費		179,670	200,851	△ 21,181
	旅費交通費		710,540	544,200	166,340
	事務費		14,097	0	14,097
	消耗品費		0	4,620	△ 4,620
経常費用計 (B)			981,523	843,311	138,212
当期経常増減額 (C) = (A) - (B)			150	△ 1,767	1,917
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益			0	0	0
経常外収益計 (D)			0	0	0
(2) 経常外費用			0	0	0
経常外費用計 (E)			0	0	0
当期経常外増減額 (F) = (D) - (E)			0	0	0
当期一般正味財産増減額 (G) = (C) + (F)			150	△ 1,767	1,917
一般正味財産期首残高 (H)			2,101,277	2,103,044	△ 1,767
一般正味財産期末残高 (I) = (G) + (H)			2,101,427	2,101,277	150
Ⅱ. 指定正味財産増減の部				0	0
当期指定正味財産収支差額 (J)			0	0	0
指定正味財産期首残高 (K)			0	0	0
指定正味財産期末残高 (L) = (J) + (K)			0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高 (M) = (I) + (L)			2,101,427	2,101,277	150

平成24年度収支補正予算書総括表

自 平成24年4月 1日
至 平成25年3月31日

(単位:円)

科目	合計	1	2	3	4	5	6	7	内部取引消去
		一般会計	専門医 特別会計	学術集会 特別会計	糖尿病学の進歩 特別会計	支部 特別会計	地方会 特別会計	支部認定委員会 特別会計	
I. 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
基本財産運用収入	500,000	500,000							
会費収入	179,600,000	179,600,000							
助成金収入	0	0							
事業収入	565,135,000	80,000,000	27,100,000	300,000,000	83,000,000		75,035,000	0	
寄付金収入	2,000,000	2,000,000							
雑収入	2,100,000	2,100,000							
他会計繰入金収入	0			9,000,000	4,000,000	11,950,000	3,950,000	2,100,000	△ 31,000,000
事業活動収入計	749,335,000	264,200,000	27,100,000	309,000,000	87,000,000	11,950,000	78,985,000	2,100,000	△ 31,000,000
2. 事業活動支出									
管理費支出	114,200,000	114,200,000							
事業費支出	802,537,400	313,400,000	26,450,000	298,800,000	84,000,000	6,529,500	71,257,900	2,100,000	
他会計への繰入金支出	0	24,950,000	2,100,000			3,950,000			△ 31,000,000
事業活動支出計	916,737,400	452,550,000	28,550,000	298,800,000	84,000,000	10,479,500	71,257,900	2,100,000	△ 31,000,000
事業活動収支差額	△ 167,402,400	△ 188,350,000	△ 1,450,000	10,200,000	3,000,000	1,470,500	7,727,100	0	0
II. 投資活動収支の部									
1. 投資活動収入									
特定資産取崩収入	134,105,310	134,105,310							
投資活動収入計	134,105,310	134,105,310	0	0	0	0	0	0	
2. 投資活動支出									
特定資産取得支出	2,500,000	2,500,000							
投資活動支出計	2,500,000	2,500,000	0	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	131,605,310	131,605,310	0	0	0	0	0	0	
III. 予備費支出	34,047,600	10,650,000	1,000,000	10,200,000	3,000,000	1,470,500	7,727,100	0	
当期収支差額	△ 69,844,690	△ 67,394,690	△ 2,450,000	0	0	0	0	0	
前期繰越収支差額	107,564,437	86,957,848	20,606,589	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額	37,719,747	19,563,158	18,156,589	0	0	0	0	0	

糖尿病 55巻7号 (2012)

1. 収支補正予算書 (一般会計)

自 平成 24 年 4 月 1日
至 平成 25 年 3 月 31日

(単位 : 円)

科 目			補正予算額	予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
基本財産運用収入			(500,000)	(500,000)	(0)	
	基本財産運用収入		500,000	500,000	0	
会費収入			(179,600,000)	(179,600,000)	(0)	
	正会員会費収入		171,000,000	171,000,000	0	
	賛助会員会費収入		8,600,000	8,600,000	0	
事業収入			(80,000,000)	(80,000,000)	(0)	
	出版事業収入		80,000,000	80,000,000	0	
寄附金収入			(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
	寄附金収入		2,000,000	2,000,000	0	
雑収入			(2,100,000)	(2,100,000)	(0)	
	受取利息収入		2,000,000	2,000,000	0	
	雑収入		100,000	100,000	0	
事業活動収入計 (A)			264,200,000	264,200,000	0	
2. 事業活動支出						
管理費支出			[114,200,000]	[98,900,000]	[15,300,000]	
	給料手当支出		61,800,000	49,000,000	12,800,000	H23年実績に基づく
	福利厚生費支出		9,000,000	7,500,000	1,500,000	H23年実績に基づく
	会議費支出		2,000,000	2,000,000	0	
	旅費交通費支出		5,000,000	5,000,000	0	
	通信運搬費支出		5,000,000	5,000,000	0	
	事務費支出		4,000,000	3,000,000	1,000,000	人員増員に伴う増加
	印刷製本費支出		2,500,000	2,500,000	0	
	支払手数料支出		12,000,000	12,000,000	0	
	光熱水料費支出		900,000	900,000	0	
	賃借料支出		11,000,000	11,000,000	0	
	雑費支出		1,000,000	1,000,000	0	
事業費支出			[313,400,000]	[260,800,000]	[52,600,000]	
	調査研究費支出		(58,000,000)	(51,000,000)	(7,000,000)	
		旅費交通費支出	6,000,000	6,000,000	0	
		通信運搬費支出	200,000	200,000	0	
		事務費支出	200,000	200,000	0	
		調査費支出	47,000,000	40,000,000	7,000,000	東日本大震災糖尿病調査研究委員会
		印刷製本費支出	100,000	100,000	0	
		会議費支出	3,500,000	3,500,000	0	
		合併症学会共同研究費	1,000,000	1,000,000	0	
	糖尿病総合対策支出		(59,000,000)	(34,000,000)	(25,000,000)	
		通信費支出	500,000	500,000	0	
		印刷製本費支出	500,000	500,000	0	
		会議費支出	7,000,000	7,000,000	0	
		旅費交通費支出	11,000,000	11,000,000	0	
		調査研究費支出	40,000,000	15,000,000	25,000,000	JDGP
	インターネット委員会支出		(5,600,000)	(4,000,000)	(1,600,000)	
		通信費支出	100,000	100,000	0	
		印刷製本費支出	100,000	100,000	0	
		備品費支出	500,000	500,000	0	
		会議費支出	300,000	300,000	0	
		IT関係整備費支出	500,000	500,000	0	
		ホームページ管理費支出	3,600,000	2,000,000	1,600,000	HPリニューアル
		旅費交通費支出	500,000	500,000	0	
	選挙管理委員会支出		(900,000)	(900,000)	(0)	
		旅費交通費支出	500,000	500,000	0	
		会議費支出	300,000	300,000	0	
		印刷製本費支出	50,000	50,000	0	
		事務費支出	50,000	50,000	0	

会 報

科 目			補正予算額	予算額	差 異	摘 要
事業費支出	各種委員会支出		(9,200,000)	(9,200,000)	(0)	
		会議費支出	3,000,000	3,000,000	0	
		旅費交通費支出	6,000,000	6,000,000	0	
		通信費支出	100,000	100,000	0	
		雑費支出	100,000	100,000	0	
	出版事業支出		(144,300,000)	(142,300,000)	(2,000,000)	
	「糖尿病」	旅費交通費支出	6,000,000	6,000,000	0	
		通信運搬費支出	26,500,000	26,500,000	0	
		会議費支出	2,500,000	2,500,000	0	
		事務費支出	500,000	500,000	0	
		印刷製本費支出	85,000,000	85,000,000	0	
		食品交換表公開シンポジウム	2,000,000	0	2,000,000	新たに計上
	「英文誌」	旅費交通費支出	2,000,000	2,000,000	0	
		通信運搬費支出	100,000	100,000	0	
		会議費支出	600,000	600,000	0	
		事務費支出	3,600,000	3,600,000	0	
		印刷製本費支出	15,500,000	15,500,000	0	
	国際交流事業支出		(33,800,000)	(16,800,000)	(17,000,000)	
		旅費交通費支出	9,000,000	9,000,000	0	
		国際学会費支出	1,100,000	1,100,000	0	
		事務費支出	200,000	200,000	0	
		会議費支出	300,000	300,000	0	
		通信運搬費支出	200,000	200,000	0	
		「国際糖尿病デー」開催支出	5,000,000	0	5,000,000	開催
		「 A A S D 」支出	4,000,000	4,000,000	0	
		East-West フォーラム	2,000,000	2,000,000	0	今回は日本での開催
		I S P A D 開催支出	2,000,000	0	2,000,000	ISPADへの助成
		IDF-WPR京都助成費支出	10,000,000	0	10,000,000	IDF-WPR京都
	Web名簿運営費用		(3,780,000)	(1,280,000)	(△ 2,500,000)	
		システム構築支出	2,500,000	0	△ 2,500,000	前期からの繰越
		システム使用料	1,280,000	1,280,000	0	
	「用語集」作成支出		(0)	(0)	(0)	
		印刷製本費支出	0	0	0	
		発送支出	0	0	0	
	学術研究助成支出		(2,500,000)	(2,500,000)	(0)	
		学会賞	2,000,000	2,000,000	0	
		Y I A	500,000	500,000	0	
	坂口賞支出		(100,000)	(100,000)	(0)	
		坂口賞支出	100,000	100,000	0	
他会計への繰入金支出			[24,950,000]	[24,950,000]	[0]	
	学術・地方集会開催事業支出		(24,950,000)	(24,950,000)	(0)	
		糖尿病学の進歩支出	4,000,000	4,000,000	0	
		年次学術集会支出	9,000,000	9,000,000	0	
		支部補助費支出	11,950,000	11,950,000	0	
事業活動支出計 (B)			452,550,000	384,650,000	△ 67,900,000	
事業活動収支差額 (C) = (A) - (B)			△ 188,350,000	△ 120,450,000	67,900,000	
II. 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
特定資産取崩収入			(134,105,310)	(50,800,000)	(△ 83,305,310)	
	OA機器積立資産取崩収入		16,620,000	16,620,000	0	
	事務所移転・営繕積立資産取崩収入		34,180,000	34,180,000	0	
	学術調査研究積立資産取崩収入		83,305,310	0	△ 83,305,310	新たに取崩し
	国際情報交流基金資産取崩収入		0	0	0	
	国際会議誘致準備積立資産取崩収入		0	0	0	
	名簿作成積立資産取崩収入		0	0	0	
投資活動収入計 (D)			134,105,310	50,800,000	△ 83,305,310	
2. 投資活動支出						
特定資産取得支出			(2,500,000)	(2,500,000)	(0)	
	退職給付引当資産取得支出		2,500,000	2,500,000	0	
投資活動支出計 (E)			2,500,000	2,500,000	0	
投資活動収支差額 (F) = (D) - (E)			131,605,310	48,300,000	△ 83,305,310	
III. 予備費支出						
(G)			10,650,000	10,650,000	0	
当期収支差額 (H) = (C) + (F) - (G)			△ 67,394,690	△ 82,800,000	△ 15,405,310	
前期繰越収支差額 (I)			331,189,517	86,957,848	△ 244,231,669	
次期繰越収支差額 (J) = (H) + (I)			263,794,827	4,157,848	△ 259,636,979	

2. 収支予算書 (専門医特別会計)

自 平成 24 年 4 月 1日
至 平成 25 年 3 月 31日

(単位:円)

科	目	補正予算額	予算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
認定事業収入		(27,100,000)	(27,100,000)	(0)	
	専門医認定審査料収入	2,500,000	2,500,000	0	
	専門医認定料収入	5,000,000	5,000,000	0	
	専門医更新審査料収入	14,600,000	14,600,000	0	
	専門医受験料収入	5,000,000	5,000,000	0	250名(概算)
事業活動収入計(A)		27,100,000	27,100,000	0	
2. 事業活動支出					
認定事業費支出		[26,450,000]	[26,450,000]	[0]	
	旅費交通費支出	10,000,000	10,000,000	0	
	人件費支出	6,000,000	6,000,000	0	
	会議費支出	3,000,000	3,000,000	0	
	会場費支出	4,000,000	4,000,000	0	
	通信費支出	800,000	800,000	0	
	消耗品費支出	100,000	100,000	0	
	印刷製本費支出	1,500,000	1,500,000	0	
	雑費支出	1,050,000	1,050,000	0	
他会計への繰入金支出		[2,100,000]	[2,100,000]	[0]	
	支部認定委員会への繰入金支出	2,100,000	2,100,000	0	
事業活動支出計(B)		28,550,000	28,550,000	0	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		△ 1,450,000	△ 1,450,000	0	
II. 予備費支出(D)		1,000,000	1,000,000	0	
当期収支差額(E)=(C)-(D)		△ 2,450,000	△ 2,450,000	0	
前期繰越収支差額(F)		20,606,589	26,942,428	△ 6,335,839	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)		18,156,589	24,492,428	△ 6,335,839	

会 報

3. 収 支 予 算 書 （ 学 術 集 会 特 別 会 計 ）

自 自 平 成 24 年 4 月 1 日
至 至 平 成 25 年 3 月 31 日

（ 単 位 ： 円 ）

科 目			補正予算額	予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
学 術 集 会 事 業 収 入			(300,000,000)	(300,000,000)	(0)	
	参 加 費 収 入		110,000,000	110,000,000	0	
	展 示 会 出 展 料 収 入		75,000,000	75,000,000	0	
	各 種 セ ミ ナ ー 共 催 費 収 入		70,000,000	70,000,000	0	
	広 告 掲 載 料 収 入		20,000,000	20,000,000	0	
	寄 付 金 ・ 助 成 金 収 入		25,000,000	25,000,000	0	
	そ の 他 収 入		0	0	0	
他 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入			(9,000,000)	(9,000,000)	(0)	
	本 部 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入		9,000,000	9,000,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			309,000,000	309,000,000	0	
2. 事業活動支出						
学 術 集 会 事 業 費 支 出			(298,800,000)	(298,800,000)	(0)	
	会 議 準 備 費 支 出		(61,500,000)	(61,500,000)	(0)	
		事 務 局 費 支 出	9,500,000	9,500,000	0	
		会 議 費 支 出	1,000,000	1,000,000	0	
		印 刷 関 係 費 支 出	35,000,000	35,000,000	0	
		通 信 費 ・ 運 搬 費 支 出	1,000,000	1,000,000	0	
		委 託 費 支 出	15,000,000	15,000,000	0	
	会 議 運 営 費 支 出		(226,000,000)	(226,000,000)	(0)	
		事 務 局 費 支 出	3,000,000	3,000,000	0	
		会 場 関 係 費 支 出	75,000,000	75,000,000	0	
		機 材 関 係 費 支 出	46,000,000	46,000,000	0	
		看 板 ・ ホ ス タ ー パ ネ ル 関 係 費 支 出	20,000,000	20,000,000	0	
		要 員 関 係 費 支 出	15,000,000	15,000,000	0	
		展 示 会 場 設 営 費 支 出	15,000,000	15,000,000	0	
		消 耗 品 ・ そ の 他 運 営 費 支 出	2,000,000	2,000,000	0	
		飲 食 ・ 会 合 関 係 費 支 出	15,000,000	15,000,000	0	
		招 待 者 旅 費 関 係 費 支 出	35,000,000	35,000,000	0	
	事 後 処 理 費 支 出		(1,300,000)	(1,300,000)	(0)	
	そ の 他 経 費 支 出		(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			298,800,000	298,800,000	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			10,200,000	10,200,000	0	
II. 予 備 費 支 出 (D)			10,200,000	10,200,000	0	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)			0	0	0	

糖尿病 55 巻 7 号 (2012)

4. 収 支 予 算 書 (進 歩 特 別 会 計)

自 自 平 成 24 年 4 月 1 日
至 至 平 成 25 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目			補正予算額	予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
糖 尿 病 学 の 進 歩 事 業 収 入			(83,000,000)	(83,000,000)	(0)	
	参 加 費 収 入		35,000,000	35,000,000	0	
	展 示 出 展 料 収 入		25,000,000	25,000,000	0	
	共 催 セ ミ ナ ー		7,000,000	7,000,000	0	
	広 告 費 収 入		8,000,000	8,000,000	0	
	そ の 他 補 助 金 収 入		7,900,000	7,900,000	0	
	雑 収 入		100,000	100,000	0	
他 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入			(4,000,000)	(4,000,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入		4,000,000	4,000,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			87,000,000	87,000,000	0	
2. 事業活動支出						
糖 尿 病 学 の 進 歩 事 業 費 支 出			[84,000,000]	[84,000,000]	[0]	
	会 議 準 備 費 支 出		(18,900,000)	(18,900,000)	(0)	
		演 題 処 理 関 係 費 支 出	6,000,000	6,000,000	0	
		事 前 登 録 処 理 費 支 出	400,000	400,000	0	
		印 刷 ・ 製 作 物 関 係 費 支 出	4,000,000	4,000,000	0	
		通 信 ・ 運 搬 関 係 費 支 出	500,000	500,000	0	
		事前準備人件費、打合費支出	5,000,000	5,000,000	0	
		ホームページ作成費支出	1,000,000	1,000,000	0	
		消耗品・備品関係費支出	2,000,000	2,000,000	0	
	会 議 運 営 費 支 出		(59,300,000)	(59,300,000)	(0)	
		会 場 関 係 費 支 出	18,000,000	18,000,000	0	
		機 材 ・ 看 板 関 係 費 支 出	15,000,000	15,000,000	0	
		機 器 展 示 関 係 費 支 出	4,000,000	4,000,000	0	
		運 営 要 員 関 係 費 支 出	7,300,000	7,300,000	0	
		会 合 費 支 出	3,000,000	3,000,000	0	
		招 聘 費 支 出	12,000,000	12,000,000	0	
	事 後 処 理 費 支 出		(800,000)	(800,000)	(0)	
	そ の 他 経 費 支 出		(5,000,000)	(5,000,000)	(0)	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			84,000,000	84,000,000	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			3,000,000	3,000,000	0	
II. 予 備 費 支 出 (D)			3,000,000	3,000,000	0	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)			0	0	0	

会 報

5. 収 支 予 算 書（支部特別会計）

自 自 平成 24 年 4 月 1日
至 至 平成 25 年 3 月 31日

（単位：円）

科 目			補正予算額	予算額	差 異	備考
Ⅰ. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
支 部 事 業 収 入			(0)	(0)	(0)	
	雑 収 入		0	0	0	
他 会 計 からの 繰 入 金 収 入			(11,950,000)	(11,950,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入		11,950,000	11,950,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			11,950,000	11,950,000	0	
2. 事業活動支出						
支 部 事 業 費 支 出			[6,529,500]	[6,529,500]	[0]	
	人 件 費		1,650,000	1,650,000	0	
	通 信 費		380,000	380,000	0	
	印 刷 費		350,000	350,000	0	
	会 議 費		1,438,000	1,438,000	0	
	旅 費 交 通 費		650,000	650,000	0	
	事 務 費		252,000	252,000	0	
	消 耗 品 費		150,000	150,000	0	
	雑 費		1,659,500	1,659,500	0	
他 会 計 へ の 繰 入 金 支 出			[3,950,000]	[3,950,000]	[0]	
	地方会会計への繰入金支出		3,950,000	3,950,000	0	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			10,479,500	10,479,500	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			1,470,500	1,470,500	0	
Ⅱ. 予 備 費 支 出 (D)			1,470,500	1,470,500	0	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)			0	0	0	

6. 収 支 予 算 書 (地方会特別会計)

自 自 平成 24 年 4 月 1 日
至 至 平成 25 年 3 月 31 日

(単 位 : 円)

科 目			補正予算額	予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
地 方 会 事 業 収 入			(75,035,000)	(75,035,000)	(0)	
	参 加 費 収 入		25,350,000	25,350,000	0	
	寄 付 金 収 入		15,570,000	15,570,000	0	
	広 告 料 収 入		7,240,000	7,240,000	0	
	展 示 料 収 入		8,240,000	8,240,000	0	
	共 催 セ ミ ナ ー 収 入		17,935,000	17,935,000	0	
	雑 収 入		700,000	700,000	0	
他 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入			(3,950,000)	(3,950,000)	(0)	
	支部会計からの繰入金収入		3,950,000	3,950,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			78,985,000	78,985,000	0	
2. 事業活動支出						
地 方 会 事 業 費 支 出			[71,257,900]	[71,257,900]	[0]	
	会 場 賃 借 料 支 出		17,716,950	17,716,950	0	
	会 場 設 営 費 支 出		13,780,950	13,780,950	0	
	機 器 使 用 料 支 出		9,356,200	9,356,200	0	
	印 刷 費 支 出		9,187,600	9,187,600	0	
	通 信 費 支 出		3,143,500	3,143,500	0	
	事 務 費 支 出		3,782,700	3,782,700	0	
	消 耗 品 費 支 出		1,838,000	1,838,000	0	
	旅 費 交 通 費 支 出		2,920,000	2,920,000	0	
	人 件 費 支 出		7,692,000	7,692,000	0	
	雑 費 支 出		1,840,000	1,840,000	0	
	租 税 公 課 支 出		0	0	0	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			71,257,900	71,257,900	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			7,727,100	7,727,100	0	
II. 予 備 費 支 出 (D)			7,727,100	7,727,100	0	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)			0	0	0	

会 報

7. 収 支 予 算 書（支部認定委員会特別会計）

自 自 平成 24 年 4 月 1 日
至 至 平成 25 年 3 月 31 日

（ 単 位 ： 円 ）

科 目			補正予算額	予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
事 業 収 入			(0)	(0)	(0)	
	寄 附 金 収 入		0	0		
他 会 計 からの 繰 入 金 収 入			(2,100,000)	(2,100,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入		2,100,000	2,100,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			2,100,000	2,100,000	0	
2. 事業活動支出						
事 業 費 支 出			[2,100,000]	[2,100,000]	[0]	
	通 信 費 支 出		200,000	200,000	0	
	印 刷 費 支 出		200,000	200,000	0	
	会 議 費 支 出		220,000	220,000	0	
	旅 費 交 通 費 支 出		1,130,000	1,130,000	0	
	事 務 費 支 出		30,000	30,000	0	
	消 耗 品 費 支 出		320,000	320,000	0	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			2,100,000	2,100,000	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			0	0	0	
II. 予 備 費 支 出 (D)			0	0	0	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)			0	0	0	

**一般社団法人 日本糖尿病学会事業計画
(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)**

会 長 羽田勝計 (旭川医科大学内科学講座
(病態代謝内科学分野))

- I. 糖尿病に関する調査及び研究 (定款第 5 条 1)
1. 糖尿病関連検査の標準化に関する調査検討
 2. 糖尿病新診断基準の検証に関する研究
 3. アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究
 4. 日本人 1 型糖尿病の成因, 診断, 病態, 治療に関する調査研究
 5. 東日本大震災からみた災害時の糖尿病医療体制構築のための調査研究
- II. 糖尿病に関する学術講演会, 討論会及び研究会の開催 (定款第 5 条 2)
1. 第 56 回年次学術集会
会 期 平成 25 年 5 月 16 日 (木) ～5 月 18 日 (土)
会 場 ホテル日航熊本, 熊本市民会館, 熊本県民交流会館パレア, 熊本ホテルキャッスルなど
会 長 荒木 栄一 (熊本大学大学院生命科学研究部)
・特別講演
・招待講演
・シンポジウム
・ワークショップ
 2. 第 48 回「糖尿病学の進歩」
会 期 平成 26 年 3 月 7 日 (金)・8 日 (土) (予定)
会 場 札幌コンベンションセンター (予定)
世話人 吉岡 成人 (NTT 東日本札幌病院糖尿病内分泌内科)
 3. 地方会活動
1) 第 47 回日本糖尿病学会北海道地方会
2) 第 51 回日本糖尿病学会東北地方会
3) 第 51 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会
4) 第 87・88 回日本糖尿病学会中部地方会
5) 第 50 回日本糖尿病学会近畿地方会
6) 第 51 回日本糖尿病学会中国・四国地方会
7) 第 51 回日本糖尿病学会九州地方会
 4. 分科会活動
1) 第 28 回日本糖尿病合併症学会
会 期 平成 25 年 9 月 13 日 (金)・14 日 (土)
会 場 旭川グランドホテル

- III. 会誌, 研究報告, 研究資料及び図書の刊行 (定款第 5 条 3)
1. 会誌「糖尿病」の発行
会誌「Diabetology International」の発行
 2. 糖尿病患者むけ指導書の発行
1) 糖尿病治療の手びき
2) 糖尿病食事療法のための食品交換表
3) 糖尿病食事療法のための食品交換表 CD-ROM 版
4) 糖尿病性腎症の食品交換表
5) 糖尿病性腎症の食品交換表 CD-ROM 版付き
6) Food Exchange Lists
7) 糖尿病食事療法のための食品交換表 活用編
 3. 医師およびコ・メディカルむけ指導書の発行
1) こどもの糖尿病・サマーキャンプの手引き
2) 「食品交換表」を用いる糖尿病食事療法指導の手びき
3) 糖尿病療養指導の手びき
4) 糖尿病治療ガイド
5) 小児・思春期糖尿病管理の手びき
6) 糖尿病専門医研修ガイドブック
7) 糖尿病学用語集
8) 糖尿病遺伝子診断ガイド
9) 糖尿病学の進歩
10) 糖尿病の療養指導
11) 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン
12) Treatment Guide for Diabetes
- IV. 糖尿病専門医制度に関する事業 (定款第 5 条 4)
1. 学会専門医, 研修指導医, 認定教育施設の認定
- V. 内外の関係団体等との連絡および提携 (定款第 5 条 5)
1. IDF 理事会への出席
 2. IDF-WPR Congress への参加
 3. AASD への参加
 4. EASD との共同企画への参加
 5. 第 49 回全国糖尿病週間の共催
 6. 社団法人日本糖尿病協会への協力
 7. 世界糖尿病デーへの参加
- VI. 国民に対する糖尿病診療に関する情報の提供及び

啓発（定款第5条6）

1. 糖尿病対策事業

- 1) 糖尿病対策推進会議への参画
- 2) 対糖尿病戦略5ヵ年計画作成委員会
- 3) 「健康日本21」の糖尿病対策検討委員会
- 4) 糖尿病データベースの構築委員会

Ⅶ. その他本会の目的を達成するために必要な事業

（定款第5条7）

1. 功労賞および研究奨励・研究業績の顕彰

- 1) 坂口賞の授与
- 2) ハーゲドーン賞の授与
- 3) リリー賞の授与
- 4) 若手研究奨励賞（YIA）の授与

平成25年度 収 支 予 算 書 総 括 表

自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月 31日

(単位:円)

科目	合計	1	2	3	4	5	6	7	内部取引消去
		一般会計	専門医 特別会計	学術集会 特別会計	糖尿病学の進歩 特別会計	支部 特別会計	地方会 特別会計	支部認定委員会 特別会計	
I. 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
基本財産運用収入	500,000	500,000							
会費収入	182,400,000	182,400,000							
助成金収入	0								
事業収入	533,635,000	80,000,000	27,600,000	268,000,000	83,000,000		75,035,000	0	
寄付金収入	2,000,000	2,000,000							
雑収入	2,100,000	2,100,000							
他会計繰入金収入	△ 100,000			9,000,000	4,000,000	11,990,000	3,950,000	2,100,000	△ 31,140,000
事業活動収入計	720,535,000	267,000,000	27,600,000	277,000,000	87,000,000	11,990,000	78,985,000	2,100,000	△ 31,140,000
2. 事業活動支出									
管理費支出	118,200,000	118,200,000							
事業費支出	754,127,400	295,800,000	25,200,000	269,200,000	84,000,000	6,569,500	71,257,900	2,100,000	
他会計への繰入金支出	0	25,090,000	2,100,000			3,950,000			△ 31,140,000
事業活動支出計	872,327,400	439,090,000	27,300,000	269,200,000	84,000,000	10,519,500	71,257,900	2,100,000	△ 31,140,000
事業活動収支差額	△ 151,792,400	△ 172,090,000	300,000	7,800,000	3,000,000	1,470,500	7,727,100	0	0
II. 投資活動収支の部									
1. 投資活動収入									
特定資産取崩収入	69,430,090	69,430,090							
投資活動収入計	69,430,090	69,430,090	0	0	0	0	0	0	
2. 投資活動支出									
特定資産取得支出	2,500,000	2,500,000							
投資活動支出計	2,500,000	2,500,000	0	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	66,930,090	66,930,090	0	0	0	0	0	0	
III. 予備費支出	30,947,600	10,650,000	300,000	7,800,000	3,000,000	1,470,500	7,727,100	0	
当期収支差額	△ 115,809,910	△ 115,809,910	0	0	0	0	0	0	
前期繰越収支差額	288,287,255	263,794,827	24,492,428						
次期繰越収支差額	172,477,345	147,984,917	24,492,428	0	0	0	0	0	

会 報

1. 収 支 予 算 書（一般会計）

自 平成 25年 4月 1日
至 平成 26年 3月 31日

（単位：円）

科 目			予算額	当初予算額	差 異	備考
1. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
基本財産運用収入			(500,000)	(500,000)	(0)	
	基本財産運用収入		500,000	500,000	0	
会 費 収 入			(182,400,000)	(179,600,000)	(2,800,000)	
	正 会 員 会 費 収 入		173,800,000	171,000,000	2,800,000	会員の増加による増額
	賛 助 会 員 会 費 収 入		8,600,000	8,600,000	0	
事 業 収 入			(80,000,000)	(80,000,000)	(0)	
	出 版 事 業 収 入		80,000,000	80,000,000	0	
寄 附 金 収 入			(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
	寄 附 金 収 入		2,000,000	2,000,000	0	
雑 収 入			(2,100,000)	(2,100,000)	(0)	
	受 取 利 息 収 入		2,000,000	2,000,000	0	
	雑 収 入		100,000	100,000	0	
事業活動収入計(A)			267,000,000	264,200,000	2,800,000	
2. 事業活動支出						
管 理 費 支 出			[118,200,000]	[114,200,000]	[4,000,000]	
	給 料 手 当 支 出		61,800,000	61,800,000	0	
	福 利 厚 生 費 支 出		9,000,000	9,000,000	0	
	会 議 費 支 出		2,000,000	2,000,000	0	
	旅 費 交 通 費 支 出		5,000,000	5,000,000	0	
	通 信 運 搬 費 支 出		5,000,000	5,000,000	0	
	事 務 費 支 出		4,000,000	4,000,000	0	
	印 刷 製 本 費 支 出		2,500,000	2,500,000	0	
	支 払 手 数 料 支 出		12,000,000	12,000,000	0	
	光 熱 水 料 費 支 出		900,000	900,000	0	
	賃 借 料 支 出		15,000,000	11,000,000	4,000,000	事務所移転に伴う加算
	雑 費 支 出		1,000,000	1,000,000	0	
事 業 費 支 出			[295,800,000]	[313,400,000]	[△ 17,600,000]	
	調 査 研 究 費 支 出		(58,000,000)	(58,000,000)	(0)	
		旅 費 交 通 費 支 出	6,000,000	6,000,000	0	
		通 信 運 搬 費 支 出	200,000	200,000	0	
		事 務 費 支 出	200,000	200,000	0	
		調 査 費 支 出	47,000,000	47,000,000	0	
		印 刷 製 本 費 支 出	100,000	100,000	0	
		会 議 費 支 出	3,500,000	3,500,000	0	
		合併症学会共同研究費	1,000,000	1,000,000	0	
	糖 尿 病 総 合 対 策 支 出		(59,000,000)	(59,000,000)	(0)	
		通 信 費 支 出	500,000	500,000	0	
		印 刷 製 本 費 支 出	500,000	500,000	0	
		会 議 費 支 出	7,000,000	7,000,000	0	
		旅 費 交 通 費 支 出	11,000,000	11,000,000	0	
		調 査 研 究 費 支 出	40,000,000	40,000,000	0	JDCP
	インターネット委員会支出		(4,000,000)	(5,600,000)	(△ 1,600,000)	
		通 信 費 支 出	100,000	100,000	0	
		印 刷 製 本 費 支 出	100,000	100,000	0	
		備 品 費 支 出	500,000	500,000	0	
		会 議 費 支 出	300,000	300,000	0	
		I T 関 係 整 備 費 支 出	500,000	500,000	0	
		ホ－ムペ－ジ管理費支出	2,000,000	3,600,000	△ 1,600,000	
		旅 費 交 通 費 支 出	500,000	500,000	0	
	選 挙 管 理 委 員 会 支 出		(900,000)	(900,000)	(0)	
		旅 費 交 通 費 支 出	500,000	500,000	0	
		会 議 費 支 出	300,000	300,000	0	
		印 刷 製 本 費 支 出	50,000	50,000	0	
		事 務 費 支 出	50,000	50,000	0	

糖尿病 55 巻 7 号 (2012)

科 目			予算額	当初予算額	差 異	摘 要
事業費支出	各種委員会支出		(9,200,000)	(9,200,000)	(0)	
		会 議 費 支 出	3,000,000	3,000,000	0	
		旅 費 交 通 費 支 出	6,000,000	6,000,000	0	
		通 信 費 支 出	100,000	100,000	0	
		雑 費 支 出	100,000	100,000	0	
	出 版 事 業 支 出		(142,300,000)	(144,300,000)	(△ 2,000,000)	
	「糖尿病」	旅 費 交 通 費 支 出	6,000,000	6,000,000	0	
		通 信 運 搬 費 支 出	26,500,000	26,500,000	0	
		会 議 費 支 出	2,500,000	2,500,000	0	
		事 務 費 支 出	500,000	500,000	0	
		印 刷 製 本 費 支 出	85,000,000	85,000,000	0	
		食品交換表公開シンポジウム		2,000,000		
	「英文誌」	旅 費 交 通 費 支 出	2,000,000	2,000,000	0	
		通 信 運 搬 費 支 出	100,000	100,000	0	
		会 議 費 支 出	600,000	600,000	0	
		事 務 費 支 出	3,600,000	3,600,000	0	
		印 刷 製 本 費 支 出	15,500,000	15,500,000	0	
	国 際 交 流 事 業 支 出		(19,800,000)	(33,800,000)	(△ 14,000,000)	
		旅 費 交 通 費 支 出	9,000,000	9,000,000	0	
		国 際 学 会 費 支 出	1,100,000	1,100,000	0	
		事 務 費 支 出	200,000	200,000	0	
		会 議 費 支 出	300,000	300,000	0	
		通 信 運 搬 費 支 出	200,000	200,000	0	
		「国際糖尿病デー」開催支出	5,000,000	5,000,000	0	
		「 A A S D 」 支 出	4,000,000	4,000,000	0	
		East-West フォーラム	0	2,000,000	△ 2,000,000	今期はヨーロッパで
		I S P A D 開催支出	0	2,000,000	△ 2,000,000	
		IDF-WPR 京都助成費支出	0	10,000,000	△ 10,000,000	
	Web 名 簿 運 営 費 用		(1,280,000)	(3,780,000)	(△ 2,500,000)	
		シ ス テ ム 構 築 支 出	0	2,500,000	△ 2,500,000	
		シ ス テ ム 使 用 料	1,280,000	1,280,000	0	システム運用費用
	「用 語 集」作成支出		(0)	(0)	(0)	
		印 刷 製 本 費 支 出	0	0	0	
		発 送 支 出	0	0	0	
	学 術 研 究 助 成 支 出		(2,500,000)	(2,500,000)	(0)	
		学 会 費	2,000,000	2,000,000	0	
		Y I A	500,000	500,000	0	
	坂 口 賞 支 出		(100,000)	(100,000)	(0)	
		坂 口 賞 支 出	100,000	100,000	0	
他会計への繰入金支出			[25,090,000]	[24,950,000]	[140,000]	
	学 術 ・ 地 方 集 会 開 催 事 業 支 出		(25,090,000)	(24,950,000)	(140,000)	
		糖 尿 病 学 の 進 歩 支 出	4,000,000	4,000,000	0	
		年 次 学 術 集 会 支 出	9,000,000	9,000,000	0	
		支 部 補 助 費 支 出	12,090,000	11,950,000	140,000	
事業活動支出計 (B)			439,090,000	452,550,000	△ 13,460,000	
事業活動収支差額 (C) = (A) - (B)			△ 172,090,000	△ 188,350,000	16,260,000	
II. 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
特定資産取崩収入			(69,430,090)	(134,105,310)	(△ 64,675,220)	
	○ A 機 器 積 立 資 産 取 崩 収 入		0	16,620,000	△ 16,620,000	
	事務所移転・営繕積立資産取崩収入		0	34,180,000	△ 34,180,000	
	学術調査研究積立資産取崩収入		0	83,305,310	△ 83,305,310	
	国際情報交流基金資産取崩収入		30,330,090	0	30,330,090	
	国際会議誘致準備積立資金取崩収入		28,100,000	0	28,100,000	
	名簿作成積立資産取崩収入		11,000,000	0	11,000,000	
投資活動収入計 (D)			69,430,090	134,105,310	△ 64,675,220	
2. 投資活動支出						
特定資産取得支出			(2,500,000)	(2,500,000)	(0)	
	退職給付引当資産取得支出		2,500,000	2,500,000	0	
投資活動支出計 (E)			2,500,000	2,500,000	0	
投資活動収支差額 (F) = (D) - (E)			66,930,090	131,605,310	△ 64,675,220	
III. 予備費支出 (G)			10,650,000	10,650,000	0	
当期収支差額 (H) = (C) + (F) - (G)			△ 115,809,910	△ 67,394,690	△ 48,415,220	
前期繰越収支差額 (I)			263,794,827	331,189,517	△ 67,394,690	
次期繰越収支差額 (J) = (H) + (I)			147,984,917	263,794,827	△ 115,809,910	

会 報

2. 収支予算書（専門医特別会計）

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月 31日

（単位：円）

科 目			予算額	当初予算額	差 異	備考
Ⅰ. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
認 定 事 業 収 入			(27,600,000)	(27,600,000)	(0)	
	専門医認定審査料収入		2,600,000	2,600,000	0	
	専門医認定料収入		5,200,000	5,200,000	0	
	専門医更新審査料収入		14,600,000	14,600,000	0	
	専門医受験料収入		5,200,000	5,200,000	0	260名(概算)
事業活動収入計(A)			27,600,000	27,600,000	0	
2. 事業活動支出						
認 定 事 業 費 支 出			[25,200,000]	[25,200,000]	[0]	
	旅 費 交 通 費 支 出		10,000,000	10,000,000	0	
	人 件 費 支 出		6,000,000	6,000,000	0	
	会 議 費 支 出		3,000,000	3,000,000	0	
	会 場 費 支 出		3,000,000	3,000,000	0	4ヵ年平均に基づく
	通 信 費 支 出		800,000	800,000	0	
	消 耗 品 費 支 出		100,000	100,000	0	
	印 刷 製 本 費 支 出		1,500,000	1,500,000	0	
	雑 費 支 出		800,000	800,000	0	4ヵ年平均に基づく
他 会 計 へ の 繰 入 金 支 出			[2,100,000]	[2,100,000]	[0]	
	支部認定委員会への繰入金支出		2,100,000	2,100,000	0	
事業活動支出計(B)			27,300,000	27,300,000	0	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)			300,000	300,000	0	
Ⅱ. 予備費支出(D)			300,000	300,000	0	
当期収支差額(E)=(C)-(D)			0	0	0	
前期繰越収支差額(F)			24,492,428	24,492,428	0	
次期繰越収支差額(J)=(E)-(F)			24,492,428	24,492,428	0	

3. 収 支 予 算 書 (学術集会特別会計)

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月 31日

(単 位 : 円)

科 目			予算額	当初予算額	差 異	備考
Ⅰ. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
学 術 集 会 事 業 収 入			(268,000,000)	(268,000,000)	(0)	
	参 加 費 収 入		90,000,000	90,000,000	0	4カ年平均に基づく
	展 示 会 出 展 料 収 入		70,000,000	70,000,000	0	
	各種セミナー共催費収入		65,000,000	65,000,000	0	
	広 告 掲 載 料 収 入		20,000,000	20,000,000	0	
	寄 付 金 ・ 助 成 金 収 入		23,000,000	23,000,000	0	
	そ の 他 収 入		0	0	0	
他 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入			(9,000,000)	(9,000,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入		9,000,000	9,000,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			277,000,000	277,000,000	0	
2. 事業活動支出						
学 術 集 会 事 業 費 支 出			[269,200,000]	[269,200,000]	[0]	
	会 議 準 備 費 支 出		(52,600,000)	(52,600,000)	(0)	
		事 務 局 費 支 出	9,000,000	9,000,000	0	
		会 議 費 支 出	800,000	800,000	0	
		印 刷 関 係 費 支 出	30,000,000	30,000,000	0	
		通 信 費 ・ 運 搬 費 支 出	800,000	800,000	0	
		委 託 費 支 出	12,000,000	12,000,000	0	
	会 議 運 営 費 支 出		(205,300,000)	(205,300,000)	(0)	
		事 務 局 費 支 出	2,500,000	2,500,000	0	
		会 場 関 係 費 支 出	70,000,000	70,000,000	0	
		機 材 関 係 費 支 出	35,000,000	35,000,000	0	
		看板・ポスター・パネル関係費支出	23,000,000	23,000,000	0	
		要 員 関 係 費 支 出	15,000,000	15,000,000	0	
		展 示 会 場 設 営 費 支 出	15,000,000	15,000,000	0	
		消耗品・その他運営費支出	800,000	800,000	0	
		飲食・会合関係費支出	14,000,000	14,000,000	0	
		招待者旅費関係費支出	30,000,000	30,000,000	0	
	事 後 処 理 費 支 出		(1,300,000)	(1,300,000)	(0)	
	そ の 他 経 費 支 出		(10,000,000)	(10,000,000)	(0)	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			269,200,000	269,200,000	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			7,800,000	7,800,000	0	
Ⅱ. 予 備 費 支 出 (D)			7,800,000	7,800,000	0	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)			0	0	0	

会 報

4. 収 支 予 算 書（進歩特別会計）

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月 31日

（単位：円）

科 目			予算額	当初予算額	差 異	備考
Ⅰ. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
糖尿病学の進歩事業収入			(83,000,000)	(83,000,000)	(0)	
	参 加 費 収 入		35,000,000	35,000,000	0	
	展 示 出 展 料 収 入		25,000,000	25,000,000	0	
	共 催 セ ミ ナ ー		7,000,000	7,000,000	0	
	広 告 費 収 入		8,000,000	8,000,000	0	
	そ の 他 補 助 金 収 入		7,900,000	7,900,000	0	
	雑 収 入		100,000	100,000	0	
他 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入			(4,000,000)	(4,000,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入		4,000,000	4,000,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			87,000,000	87,000,000	0	
2. 事業活動支出						
糖尿病学の進歩事業費支出			[84,000,000]	[84,000,000]	[0]	
	会 議 準 備 費 支 出		(18,900,000)	(18,900,000)	(0)	
		演 題 処 理 関 係 費 支 出	6,000,000	6,000,000	0	
		事 前 登 録 処 理 費 支 出	400,000	400,000	0	
		印 刷 ・ 製 作 物 関 係 費 支 出	4,000,000	4,000,000	0	
		通 信 ・ 運 搬 関 係 費 支 出	500,000	500,000	0	
		事前準備人件費、打合費支出	5,000,000	5,000,000	0	
		ホームページ作成費支出	1,000,000	1,000,000	0	
		消耗品・備品関係費支出	2,000,000	2,000,000	0	
	会 議 運 営 費 支 出		(59,300,000)	(59,300,000)	(0)	
		会 場 関 係 費 支 出	18,000,000	18,000,000	0	
		機 材 ・ 看 板 関 係 費 支 出	15,000,000	15,000,000	0	
		機 器 展 示 関 係 費 支 出	4,000,000	4,000,000	0	
		運 営 要 員 関 係 費 支 出	7,300,000	7,300,000	0	
		会 合 費 支 出	3,000,000	3,000,000	0	
		招 聘 費 支 出	12,000,000	12,000,000	0	
	事 後 処 理 費 支 出		(800,000)	(800,000)	(0)	
	そ の 他 経 費 支 出		(5,000,000)	(5,000,000)	(0)	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			84,000,000	84,000,000	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			3,000,000	3,000,000	0	
Ⅱ. 予 備 費 支 出 (D)			3,000,000	3,000,000	0	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)			0	0	0	

5. 収 支 予 算 書 (支部特別会計)

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月 31日

(単 位 : 円)

科 目			予算額	当初予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
支 部 事 業 収 入			(0)	(0)	(0)	
	雑 収 入		0	0	0	
他 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入			(11,990,000)	(12,090,000)	(100,000)	
	本部会計からの繰入金収入		11,990,000	12,090,000	100,000	200名増
事 業 活 動 収 入 計 (A)			11,990,000	12,090,000	100,000	
2. 事業活動支出						
支 部 事 業 費 支 出			[6,569,500]	[6,569,500]	[0]	
	人 件 費		1,650,000	1,650,000	0	
	通 信 費		380,000	380,000	0	
	印 刷 費		350,000	350,000	0	
	会 議 費		1,478,000	1,478,000	0	
	旅 費 交 通 費		650,000	650,000	0	
	事 務 費		252,000	252,000	0	
	消 耗 品 費		150,000	150,000	0	
	雑 費		1,659,500	1,659,500	0	
他 会 計 へ の 繰 入 金 支 出			[3,950,000]	[3,950,000]	[0]	
	地方会会計への繰入金支出		3,950,000	3,950,000	0	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			10,519,500	10,519,500	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			1,470,500	1,570,500	100,000	
II. 予 備 費 支 出 (D)			1,470,500	1,570,500	100,000	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)			0	0	0	

会 報

6. 収 支 予 算 書 （ 地方会特別会計 ）

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月 31日

（ 単 位 ： 円 ）

科 目			予算額	当初予算額	差 異	備考
Ⅰ. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
地 方 会 事 業 収 入			(75,035,000)	(75,035,000)	(0)	
	参 加 費 収 入		25,350,000	25,350,000	0	
	寄 付 金 収 入		15,570,000	15,570,000	0	
	広 告 料 収 入		7,240,000	7,240,000	0	
	展 示 料 収 入		8,240,000	8,240,000	0	
	共 催 セ ミ ナ ー 収 入		17,935,000	17,935,000	0	
	雑 収 入		700,000	700,000	0	
他 会 計 か ら の 繰 入 金 収 入			(3,950,000)	(3,950,000)	(0)	
	支部会計からの繰入金収入		3,950,000	3,950,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			78,985,000	78,985,000	0	
2. 事業活動支出						
地 方 会 事 業 費 支 出			[71,257,900]	[71,257,900]	[0]	
	会 場 賃 借 料 支 出		17,716,950	17,716,950	0	
	会 場 設 営 費 支 出		13,780,950	13,780,950	0	
	機 器 使 用 料 支 出		9,356,200	9,356,200	0	
	印 刷 費 支 出		9,187,600	9,187,600	0	
	通 信 費 支 出		3,143,500	3,143,500	0	
	事 務 費 支 出		3,782,700	3,782,700	0	
	消 耗 品 費 支 出		1,838,000	1,838,000	0	
	旅 費 交 通 費 支 出		2,920,000	2,920,000	0	
	人 件 費 支 出		7,692,000	7,692,000	0	
	雑 費 支 出		1,840,000	1,840,000	0	
	租 税 公 課 支 出		0	0	0	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			71,257,900	71,257,900	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			7,727,100	7,727,100	0	
Ⅱ. 予 備 費 支 出 (D)			7,727,100	7,727,100	0	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (E) - (F)			0	0	0	

7. 収 支 予 算 書 (支部認定委員会特別会計)

自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月 31日

(単 位 : 円)

科 目			予算額	当初予算額	差 異	備考
I. 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
事 業 収 入			(0)	(0)	(0)	
	寄 附 金 収 入		0	0		
他 会 計 からの 繰 入 金 収 入			(2,100,000)	(2,100,000)	(0)	
	本部会計からの繰入金収入		2,100,000	2,100,000	0	
事 業 活 動 収 入 計 (A)			2,100,000	2,100,000	0	
2. 事業活動支出						
事 業 費 支 出			[2,100,000]	[2,100,000]	[0]	
	通 信 費 支 出		200,000	200,000	0	
	印 刷 費 支 出		200,000	200,000	0	
	会 議 費 支 出		220,000	220,000	0	
	旅 費 交 通 費 支 出		1,130,000	1,130,000	0	
	事 務 費 支 出		30,000	30,000	0	
	消 耗 品 費 支 出		320,000	320,000	0	
事 業 活 動 支 出 計 (B)			2,100,000	2,100,000	0	
事 業 活 動 収 支 差 額 (C) = (A) - (B)			0	0	0	
II. 予 備 費 支 出 (D)			0	0	0	
当 期 収 支 差 額 (E) = (C) - (D)			0	0	0	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (F)			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (I) = (E) - (F)			0	0	0	

臨時理事会議事録

開催日 平成 24 年 5 月 18 日（金）
 午前 7 時～8 時 10 分
 会 場 パシフィコ横浜 2 階 211 室
 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1
 出席者 理事 羽田勝計 佐藤 讓 渥美義仁
 植木浩二郎 宇都宮一典 春日雅人
 門脇 孝 古家大祐 中村二郎
 稲垣暢也 清野 進 難波光義
 横野浩一 加来浩平 谷澤幸生
 荒木栄一 井口登與志 清野 裕
 以上 18 名
 監事 山田祐一郎 綿田裕孝 以上 2 名

1. 理事長の選出に関する件
 出席理事全員による投票の結果、門脇理事が理事長
 に選出された。

2. 会務の分担

各会務の常務理事として

庶務担当 加来浩平
 会計担当 荒木栄一
 編集担当 羽田勝計
 学術調査研究担当 春日雅人
 国際交流担当 稲垣暢也

が決定した。

3. 日本医学会の委員選出について

日本医学会評議員 門脇理事長、連絡委員 加来常
 務理事とし、用語委員および（用語）代委員は後日新
 委員を選任することとした。

理事の会務分担（平成 24 年 5 月 18 日）

理事長 門脇 孝
 庶 務 ○加来浩平 渥美義仁
 植木浩二郎
 会 計 ○荒木栄一 横野浩一 中村二郎
 編 集 ○羽田勝計 難波光義 古家大祐
 学術調査研究教育 ○春日雅人 清野 進 佐藤 讓
 井口登與志
 国際交流 ○稲垣暢也 清野 裕 谷澤幸生
 宇都宮一典

注)○印 常務理事

小児糖尿病委員会 佐藤 讓
 協会委員会 稲垣暢也 渥美義仁
 中村二郎
 糖尿病編集委員会 羽田勝計 稲垣暢也
 難波光義 古家大祐
 Diabetology International 羽田勝計 春日雅人
 清野 進
 治療の手びき編集委員会 荒木栄一 稲垣暢也
 羽田勝計
 食品交換表編集委員会 渥美義仁 清野 裕
 羽田勝計
 内保連 渥美義仁 加来浩平
 宇都宮一典
 専門医認定委員会 谷澤幸生 清野 裕
 中村二郎 横野浩一
 専門医試験委員会 荒木栄一 植木浩二郎
 井口登與志 宇都宮一典

以上 文責 庶務担当常務理事 加来浩平